



バージョンアップガイド

(Ver.7.2→Ver.8)

Mercury Evoluto Ver.7.2 から Ver.8 の
バージョンアップ内容をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。

目次

バージョンアップガイド Mercury Evoluto (Ver.7.2→Ver.8)

1 図化編集 P.1

1- 1	図郭線、図根点、筆界基準杭の表示順変更	1
1- 2	隣接図郭番号見出図の条件を追加	3
1- 3	地籍図に未作画の要素を抽出	4
1- 4	網図作成時の「路線方向線」の描画方法を追加	4

2 測量計算 P.4

2- 1	観測データのチェック	5
2- 2	観測値（倍角差、観測差など）のチェック	9
2- 3	多角網の外周路線、及び多角路線選定の 運用基準の適合を検査	11
2- 4	同じ台帳番号を持つ複数の所有者を統合	14
2- 5	測点、ST、画地の「文字リンク型」属性に 自動で特定のファイルをリンク	16
2- 6	面積の計算で、「地籍の地積」と「登記の地積」の両方を計算	19
2- 7	事務支援連携する際、 調査区域「内外」の設定を測量計算で指示	22
2- 8	事務支援連携する際、不要な画地を測量計算で指示	24
2- 9	観測制限項目タブに「精度区分」の指定を追加	24
2-10	一括設定機能に「JOB情報」と「気象情報」を追加	27
2-11	一筆地測量の距離を検査する変数を追加	28
2-12	取り付け無しの水平角を抹消する変数を追加	29
2-13	距離を両観測する時、 採用されない側の距離を抹消する変数を追加	29
2-14	一筆地測量の観測手簿に平均標高を印字する変数を追加	31
2-15	与点の点検（帳票印刷）の際、 器械点と後視点の組み合わせを絞り込む設定を追加	31
2-16	共通視準点のある器械点の中数値変換方法に 対回の場合も合成しない設定を追加	34
2-17	路線計算書に「RLの差」を印字する変数を追加	37
2-18	帳票印刷の改ページの扱いを強化	37

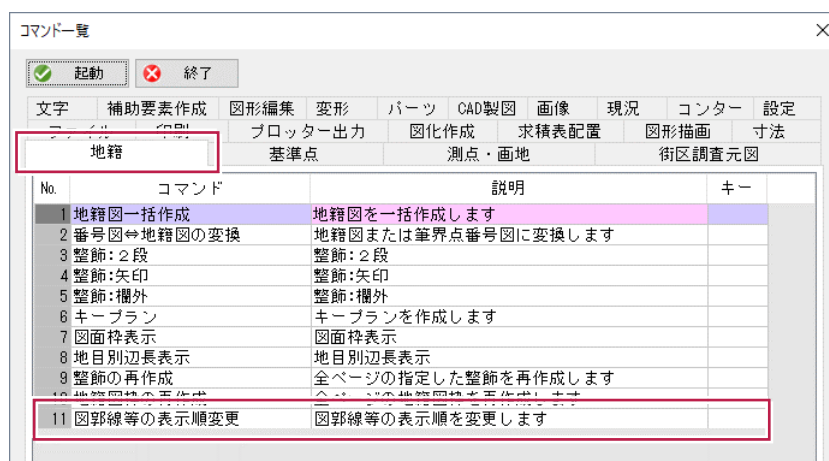
2-19	座標、座標属性を更新する測点がロックされている場合の 警告表示を追加	38
2-20	「各種計算」で計算の対象とする与点を絞り込む機能を追加	40
2-21	点検路線一覧の情報を強化	42
2-22	点検路線の一覧で、取付の有無による路線の絞り込みを追加	42
2-23	放射路線から器械点と後視点の組み合わせを抽出	43
2-24	時間毎の色設定を強化	45
2-25	実行時の表示状態を保持	45
2-26	属性マスター参照項目をマスターID（数値）で入力	47
2-27	H29年度記載例地積測定精度管理表（P303） 筆界未定の設定を変更	49

1 図化編集

図化編集の新機能をご紹介します。

1-1 図郭線、図根点、筆界基準杭の表示順変更

【コマンド一覧】－【地籍】－【図郭線等の表示順変更】を追加して、図郭線、図根点、筆界基準杭の表示順を変更できるようにしました。



【補足】1-1

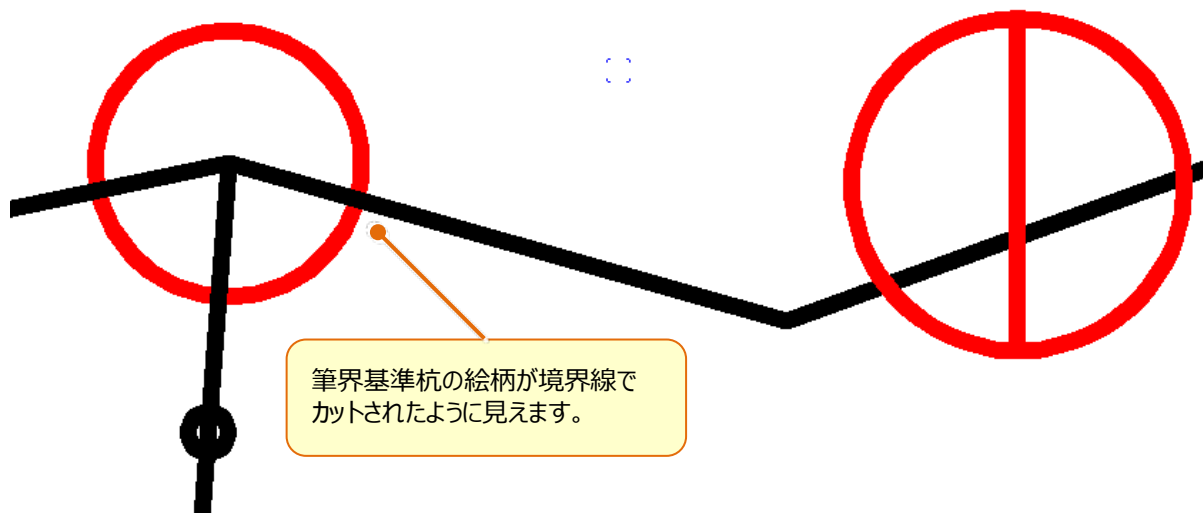
地籍図・筆界点番号図で、図郭線、図根点、筆界基準杭の表示順を一括で変更することができます。

図化条件に表示順の指定はなく、プログラム固定の設定で図化されます。

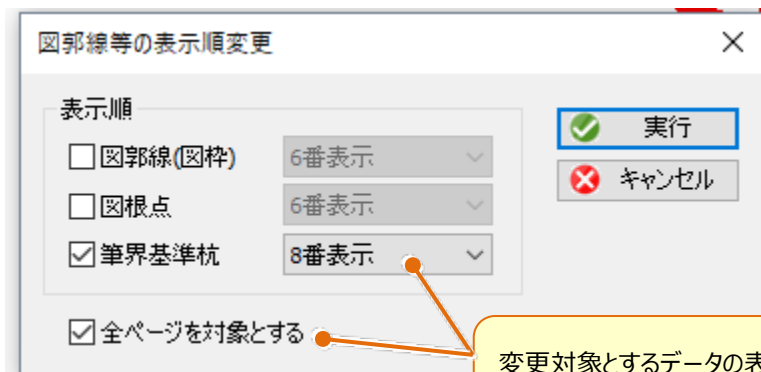
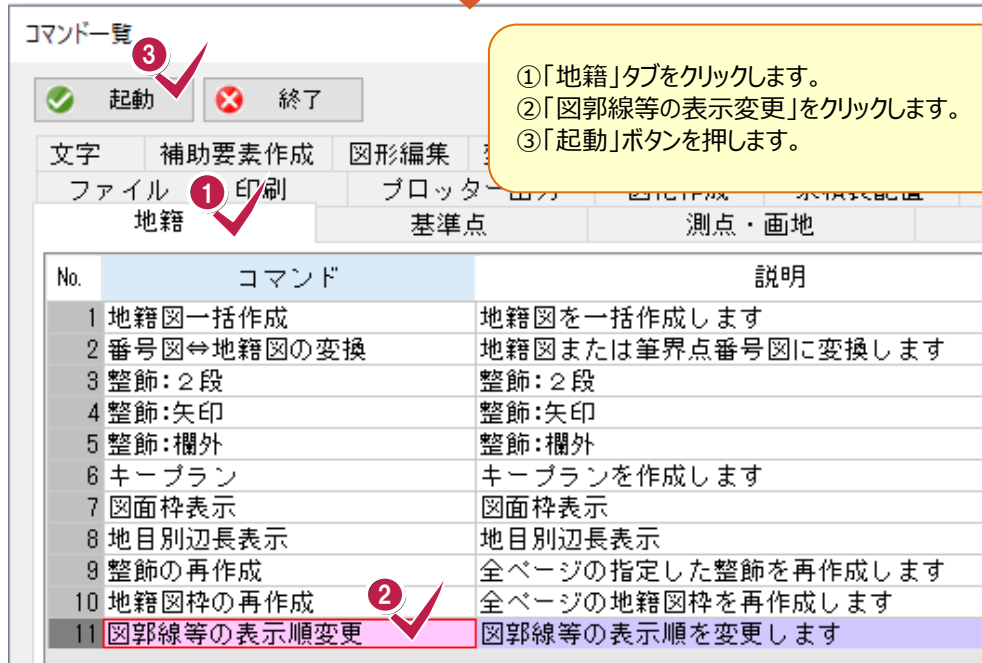
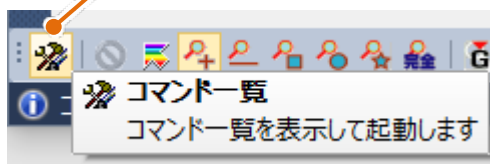
図面作成後に、データ種類毎に一括で表示順を変更できる機能を追加しました。

地籍図・筆界点番号図の図面作成では、

- ・筆界基準杭は、境界線より下側の表示になるように図化されます。
- ・図根点は、境界線より上側の表示になるように図化されます。



コマンド一覧に表示順を変更できる機能を追加しました。



変更対象とするデータの表示順を指定します。
全ページを対象にして変更することもできます。

1-2

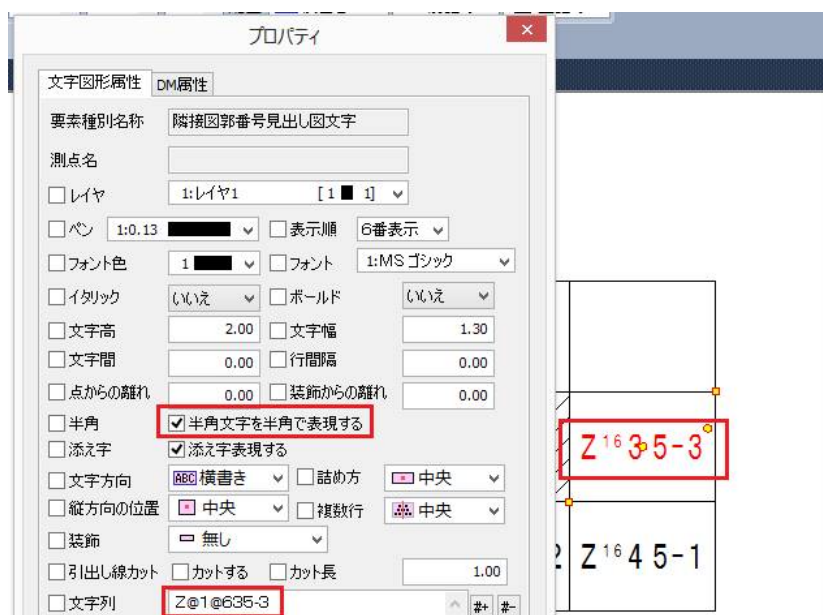
隣接図郭番号見出図の条件を追加

地籍図内の隣接図郭番号見出図の図郭名について、ハイフンと肩符を除いて全角文字で作成するための条件を追加しました。

〔地籍図〕－〔整飾〕－〔隣接図郭番号見出図〕に〔英数字を全角文字で作成する〕チェックボックスを追加しました。〔図郭名の2段配置〕に「1/50」と「1/100」を追加しました。



〔英数字を全角文字で作成する〕チェックボックスをオンにすると、以下のようにハイフンを英数字の半分の幅で図化することができます。



1-3

地籍図に未作画の要素を抽出

〔ツール〕－〔画地属性照合リスト出力〕の〔画地属性照合リスト出力〕ダイアログに〔単独測点名〕〔地籍図の実作画データのチェック〕を追加しました。図郭内に存在する「画地」、「図根点」、及び「筆界基準杭」が作画されていない場合に「未作画」として現場との相違を抽出できます。

1-4

網図作成時の「路線方向線」の描画方法を追加

図化作成条件の〔網図〕－〔網・路線〕－〔路線方向線〕に〔折れ線で描く〕チェックボックスを追加しました。

2 測量計算

測量計算の新機能をご紹介します。

2-1 観測データのチェック

〔多角〕－〔野帳処理〕－〔チェック〕に〔観測データチェック〕を追加して、観測データに不備がないかをチェックできるようにしました。

チェックする内容は、「JOB」「気象」「器械」欄の空白チェック、「工程」「精度区分」に応じた「観測」欄の対回数・セット数のチェックなどです。



【補足】2-1

観測の制限値は、[多角プロジェクト]の「観測制限項目」の値を参照します。地籍測量の場合は、「工程」と「精度区分」から観測の制限値を設定することができます。観測の制限値が超えた場合は、手簿に“*”が印字されます。

多角プロジェクトのプロパティ

名称(A):

タイプ ☐ トラバース(B) ☒ 基準点(公共、地籍)(C) ☐ 旧規程用(現行の)

項目
☒ 条件項目
☐ 精度管理表項目
☐ 観測制限項目

両観測で両方に距離を記録した場合の処理
☒ 路線の進行方向側の距離を採用する(D)
☐ 器械点毎に、距離ありなしを繰り返すとする(E)
☐ 距離を平均する(F)

両観測時の高度角の取り扱い
☒ 高度角補正を行い高度角を平均する(G)

距離の補正方法
☐ 補正しない(平面距離)
☒ 投影補正、ジオイド補正
 屈折係数(X):

工程
 ①

「地籍測量」の場合は、観測の制限値を下記の項目の組み合わせから設定することができます。

- ① 条件項目の「工程」
- ② 観測制限項目の「精度区分」

多角プロジェクトのプロパティ

名称(A):

タイプ ☐ トラバース(B) ☒ 基準点(公共、地籍)(C) ☐ 旧規程用(現行の)

項目
☐ 条件項目
☐ 精度管理表項目
☒ 観測制限項目

☒ 対回時の観測制限(A)

水平角観測
 倍角差(B): 秒
 観測差(C): 秒
 較差(J): 秒

鉛直角観測
 高度定数の較差(D): 秒

距離測定
 セット内較差(E): mm
 セット間較差(F): mm

☐ 1級基準点(1) ☐ 2級(1級TS)(2) ☐ 2級(2級TS)(W)
☐ 3級基準点(3) ☐ 4級基準点(4) ☒ その他(4)

精度区分: ②

③ 工程と精度区分から観測制限値をセット

「工程」と「精度区分」を設定し、クリックすると制限値が設定されます

観測手簿

測点 1211-交-14

観測年月日 2014/10/24

観測状況 B=P=C

天候 晴れ 風力 軟風

測器名 TS ○○○○

器械番号 NO. 10000

観測者 福井 太郎

器械高 1.400 m

器械定数 ±0 mm

記録方法 自動

気温 23.0 °C

気圧 1013.0 hPa

気象補正 +8.0 ppm

開始時刻 14:18

終了時刻 14:27

目盛	望遠鏡	番号	視準点 番号・名称	水平角		倍角 (")	較差 (")	平均値 (° ' ")
				観測角 (° ' ")	結果 (° ' ")			
0°	r	1	1211D1-24-5	0-01-11	0-00-00			0-00-00
		2	1211F4-6-1	175-45-12	175-44-01	44	-42 *	175-44-30
	l	2		355-45-29	175-44-43			
		1		180-00-46	0-00-00			
90°	l	1		270-01-10	0-00-00			
		2		85-45-56	175-44-46	77	-15	
	r	2		265-46-06	175-44-31			
		1		90-01-35	0-00-00			

倍角差・観測差

手簿で観測の制限を超えた箇所に、
“*”が印字されます。

地籍作業規定 観測制限

		細部図根測量（放射法）：F					
		甲1	甲2	甲3	乙1	乙2	乙3
水平角	対回数	1	1	1	1	1	1
	倍較差	-	-	-	-	-	-
	観測差	-	-	-	-	-	-
	較差	20s	20s	30s	30s	40s	40s
鉛直角	対回数	1	1	1	1	1	1
	高度定数較差	90s	90s	90s	90s	90s	90s
距離	回数	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット
	セット内較差	10mm	10mm	15mm	20mm	20mm	20mm
	セット間較差	-	-	-	-	-	-
備考		別表20					
		赤字（較差、高度定数較差）					
		測定距離が50m未満の場合（Sは測定距離）					
		1000/S	1500/S	2000/S			
		4500/S					

制限値がない場合には、代用の
値として“1000”が設定されます。

項目
条件項目
精度管理表項目
観測制限項目

☒ 対回時の観測制限(A)

水平角観測

倍角差(B): 1000 秒

観測差(C): 1000 秒

較差(J): 20 秒

鉛直角観測

高度定数の較差(D): 90 秒

点(公共、地籍)(C)

☐ 旧規程用(現)

キャンセル 1211F4-6 

ファイル・作業 ▼ 帳票 編集 ▼ チェック ▼ 設定 ▼ ウィンドウ ▼

No	項目	業務名	機種	機種SN	観測者
1	1:JOB	多角1	1:TS ○○○○	1:NO.10000	
2	2:気象		2:軟風	23.00	1013.00
3	3:器械			1	1211-交-14
4	4:観測	1:0°	0:正	46	121101-24-5
5	4:観測	1:0°	0:正	3	1211F4-6-1
6	4:観測	1:0°	1:反	3	1211F4-6-1

<

Output

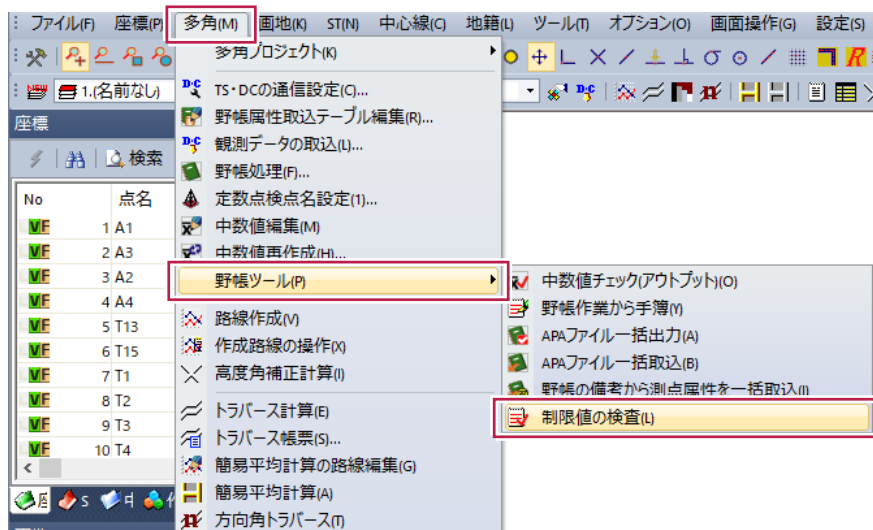
\$警告: [予帳] (1行, 5列): 観測者が設定されていません。
 \$警告: [予帳] (2行, 2列): 天候が設定されていません。
 \$成功: [予帳] データチェック - 警告 2 レコード。エラー 0 レコード。

観測者などが空白（未設定）の場合は、
Outputに情報が出力されます。

2-2

観測値（倍角差、観測差など）のチェック

〔多角〕－〔野帳ツール〕－〔制限値の検査〕を追加して、対回時の観測制限（水平角（較差、倍角差、観測差）、鉛直角（高度定数差）、距離（セット内較差、セット間較差））の超過を検査できるようにしました。



【補足】2-2

複数の野帳を対象にして、かつ、1 観測ごとの一覧表形式で、観測が制限値を超えているかチェックができます。手簿を出力する前に観測の制限を超えていないか、チェックすることができます。

観測の制限値を超えているか、チェックする野帳を選択します



制限値を超えた箇所は赤字で表記されます。

制限値の検査

No.	No.	野帳名	No.	器械点名	No.	視準点名	較差	倍角差	観測差	高度定数差	セット内較差	セット間較差
1	1	1211F4-6	1	1211-交-14	46	1211D1-24-5				40	0,0	0
2	1	1211F4-6	1	1211-交-14	3	1211F4-6-1	-42,-15	33	27		1,0	1
3	1	1211F4-6	3	1211F4-6-1	1	1211-交-14				12	0,0	0
4	1	1211F4-6	3	1211F4-6-1	101	1211F4-6-2	-5,-5	4	0		0,0	1
5	1	1211F4-6	3	1211F4-6-1	101	1211F4-6-2				14	0,0	1
15	2	1211F4-8	10	1109-交-2	11	1109D1-1-2				10	1,0	0
16	2	1211F4-8	10	1109-交-2	12	1211F4-8-1	14,14	8	0		1,1	24
17	2	1211F4-8	12	1211F4-8-1	10	1109-交-2				1	0,0	2
18	2	1211F4-8	12	1211F4-8-1	13	1211F4-8-2	21,24	3	3		0,0	1
19	2	1211F4-8	13	1211F4-8-2	12	1211F4-8-1				3	0,0	0
20	2	1211F4-8	13	1211F4-8-2	56	1211F4-8-3	24,21	3	3		0,0	1

☐ 制限値を超えた観測のみ表示する(L) クリップボード出力(C) OK

野帳の器械点ごとに、情報を表示します。
情報は、後視と視準点の組み合わせで表示されます。

制限値の検査

No.	No.	野帳名	No.	器械点名	No.	視準点名	較差	倍角差	観測差	高度定数差	セット内較差	セット間較差
1	1	1211F4-6	1	1211-交-14	46	1211D1-24-5				40	0,0	0
2	1	1211F4-6	1	1211-交-14	3	1211F4-6-1	-42,-15	33	27		1,0	1
3	2	1211F4-8	10	1109-交-2	12	1211F4-8-1	14,14	8	0		1,1	24
4	2	1211F4-8	166	1211F4-3-1	19	1211-交-15				33	1,0	0
5	2	1211F4-8	166	1211F4-3-1	167	1211D1-22-2	1,-24	13	25		0,0	4

☒ 制限値を超えた観測のみ表示する(L) クリップボード出力(C) OK

- ① 「制限値を超えた観測のみ表示する」にチェックをします。
制限を超えた箇所のみが表示になります
- ② 「クリップボード出力」をクリックします。
チェック結果を、EXCELなどに貼り付けができます。
制限値を超えた場合には、値の先頭に“*”がつきます。

Excel 画面のスクリーンショット

No.	作業No.	野帳名	器械点No.	器械点名	視準点No.	視準点名	水平角:較差	水平角:倍角差	水平角:観測差	鉛直角:高度定数差	距離:セット内較差	距離:セット間較差
1	1	1211F4-6	1	1211-交-14	46	1211D1-24-5				*40	0,0	0
2	1	1211F4-6	1	1211-交-14	3	1211F4-6-1	-42,-15	*33	*27		1,0	1
3	2	1211F4-8	10	1109-交-2	12	1211F4-8-1	14,14		8	0	1,1	*24
4	2	1211F4-8	166	1211F4-3-1	19	1211-交-15				*33	1,0	0
5	2	1211F4-8	166	1211F4-3-1	167	1211D1-22-2	1,-24	13	*25		0,0	4

H	I	J	K
水平角:較差	水平角:倍角差	水平角:観測差	鉛直角:高度
-42,-15		25 *59	

制限値を超えた場合には、“*”が先頭につきます。

2-3

多角網の外周路線、及び多角路線選定の運用基準の適合を検査

〔多角〕－〔路線作成〕の〔路線作成〕ダイアログに〔点検路線チェック〕を追加しました。
外周路線の新点の範囲（外側50度以下など）、多角路線の長さ（1.5Km以内など）、路線の中の夾角（60度以上など）などについて、「工程」と「次数」を基準に判定します。

路線作成

路線名(A):

種別(B): 点検路線 一覧(Z)...

路線型(C): 結合

初点(D):

取付: ☒ 出射(E) ☐ 入射(F) ☐ なし(G)

後視(H):

方向区分: ☒ 座標より(I) ☐ 手入力(J)

方向角(K):

終点(L):

取付: ☒ 出射(M) ☐ なし(N)

前視(O):

方向区分: ☒ 座標より(P) ☐ 手入力(Q)

方向角(R):

放射点の設定

放射混合: ☐ する(S) ☒ しない(T)

☐ 放射点を任意に指定する(U)

☐ 両観測も放射に含める(V)

☐ 距離観測をしていなくても距離=0として扱う(W)

☐ 2次放射点を抽出(X)

路線の属性

次数(1):

精度区分(2): (設定しない)

図根点種別(3): (設定しない)

☒ 点検路線のチェック

☒ 外周路線のチェック ☒ 左回り ☐ 右回り

OK キャンセル ヘルプ

【補足】2-3

地籍測量の作業規定に準じて、路線が作成されているのか検査を行うことができます。

適合の判断基準は、「工程」および「次数」から行います。

（注意）「工程」と「次数」の両方が設定されていない場合には、検査を行うことはできません。

適合の判断基準は、「工程」と「次数」の組み合わせから参照されます。

地籍図根多角測量：D	
1次路線	外周路線に属する隣接与点を結ぶ直線から外側50度以下。
	路線の中の夾角は、60度以上。
	路線の長さは1.5キロメートル以下。
	新点間の距離は30メートル以上。
2次路線	路線の長さは1.0キロメートル以下。
	新点間の距離は30メートル以上。
地籍図根多角測量省略地区：F	
1次路線	外周路線に属する隣接与点を結ぶ直線から外側50度以下。
	路線の中の夾角は、60度以上。
	路線の長さは1.0キロメートル以下。閉合路線は200メートル以下。
	新点間の距離は20メートル以上。
2次路線	路線の長さは1.0キロメートル以下。閉合路線は200メートル以下。
細部図根測量（多角法）：F	
1次路線	
	路線の長さは1.0キロメートル以下。閉合路線は200メートル以下。
2次路線	路線の長さは1.0キロメートル以下。閉合路線は200メートル以下。

多角プロジェクトのプロパティ

名称(A): 図根点測量

タイプ ☐ トラバース(B) ☒ 基準点(公共、地籍)(C) ☐ 旧規程用(D)

項目
☒ 条件項目
☐ 精度管理表項目
☐ 観測制限項目

両観測で両方に距離を記録した場合の処理
☒ 路線の進行方向側の距離を採用する(D)
☐ 器械点毎に、距離ありなしを繰り返すとする(E)
☐ 距離を平均する(F)

両観測時の高度角の取り扱い
☒ 高度角補正を行い高度角を平均する(G)
☐ 高度角補正をせずに高度角を平均する(H)
☐ 採用距離側の高度角を使用する(I)

距離の補正方法
☐ 補正しない(平面距離 = 斜距離 × cos(高度角))
☒ 投影補正、ジオイド補正、縮尺補正(L)
 屈折係数(O): 0.133

工程
 地籍図根多角測量: D

「工程」は、多角プロジェクト—条件項目で設定します。

路線作成(更新)

路線名(A): A

種別(B): 点検路線 一覧(Z)...

路線型(C): 結合

初点(D): 8 3H-1028

取付: ☐ 出射(E) ☐ 入射(F) ☒ なし(G)

路線の属性
 次数(1): 1
 精度区分(2): (設定しない)
 図根点種別(3): (設定しない)
☒ 点検路線のチェック
☒ 外周路線のチェック ☐ 左回り ☒ 右回り

OK キャンセル ヘルプ

「次数」は、路線作成ウィンドウで指定します。
 1. 点検路線のチェックをオンにします。
 2. 外周路線のチェックは、必要に応じてチェックをオンにします。(1次路線)

路線作成で、終点の指示が終わった後に適合検査が行われます。

- ・不適合の場合には、確認メッセージウィンドウが表示されます。
- ・不適合の箇所の内容は、Outputウィンドウに出力されます。



路線作成

作成する路線に不適合があります。
 Outputウィンドウを確認してください。
 作成しますか？

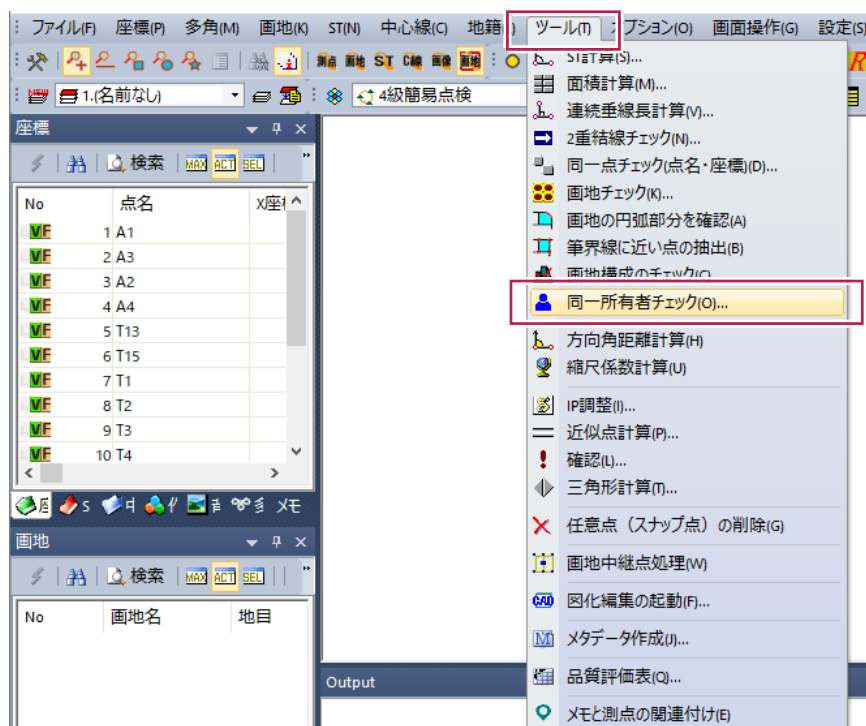
はい(Y) いいえ(N)

Output
 夾角が60度未満です。(点名: T20, 夾角: 48°44'41")

2-4

同じ台帳番号を持つ複数の所有者を統合

【ツール】－【同一所有者チェック】を追加して、所有者マスター内で、台帳番号が重複している複数の所有者を抽出し、一方に統合できるようにしました。その時、統合された側の所有者を属性とする画地の情報も変更します。



【補足】2-4

同一人物（所有者コードが同じ）だが所有者名が旧字などで、別人として取り扱われている所有者を 1 人にまとめます。

所有者

No	ID	所有者名1	台帳番号	所有者カナ
1	1	円城寺 国男	113000041	エンジョウジ
2	2	円城寺 ●男	113000041	エンジョウジ
3	3	●城寺 国男	113000041	エンジョウジ

【要約書CSV取込み】などから画地属性を取り込んだら、同一人物（所有者コードが一致している）が旧字で登録されているため別人として取りこまれている

画地

No	画地名	所有者	座標法面積
2	1-1	1:円城寺 国男	106.7383265
3	1-2	2:円城寺 ●男	163.3930795
4	1-3	3:●城寺 国男	94.055011

①「台帳番号」が同一である所有者が③集約し、一つにまとめます。

検索実行

集約実行

ID	所有者	市郡	町村	②他	番地	台帳番号
1	円城寺 国男					113000041
2	円城寺 ●男					113000041
3	●城寺 国男					113000041

ページ: 1 / 1

閉じる

- ① 「検索実行」ボタンを押します。
同一の所有者コード別に、所有者名が表示されます。
- ② 取りまとめる所有者を選択します。
- ③ 「集約実行」ボタンを押して、1人にまとめます。

所有者

実行 終了

No	ID	所有者名1	台帳番号	所有者カナ
1	1	円城寺 国男	113000041	エンジョウジ
2	4	高橋 幸雄	113000187	タカハシ

所有者が統合されて、画地属性も同時に更新されます。

画地

検索 MAX ACT ST ATT 属性検索

No	画地名	所有者	座標法面積
VF 2	1-1	1:円城寺 国男	106.7383265
VF 3	1-2	1:円城寺 国男	163.3930795
VF 4	1-3	1:円城寺 国男	94.055011

2-5

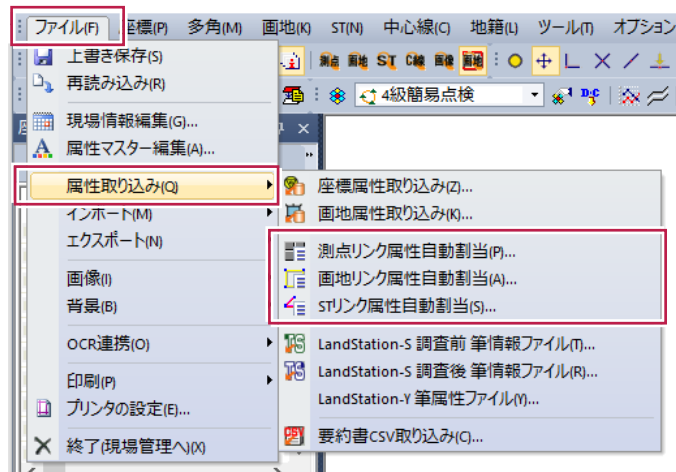
測点、ST、画地の「文字リンク型」属性に 自動で特定のファイルをリンク

〔ファイル〕 — 〔属性取り込み〕 に 〔測点リンク属性自動割当〕 〔画地リンク属性自動割当〕 を追加して、測点、ST、画地の「文字リンク型」属性に対し、自動で特定のファイルをリンクできるようにしました。

測点は「測点名」、STは「ST名」、画地は「画地名」がファイル名に含まれるファイルを任意のフォルダーから抽出します。

その時、ファイル名にはヘッダー部、フッター部として任意の文字列を指定できます。

ファイルの種類はPDFと画像形式に限りです。



【補足】2-5

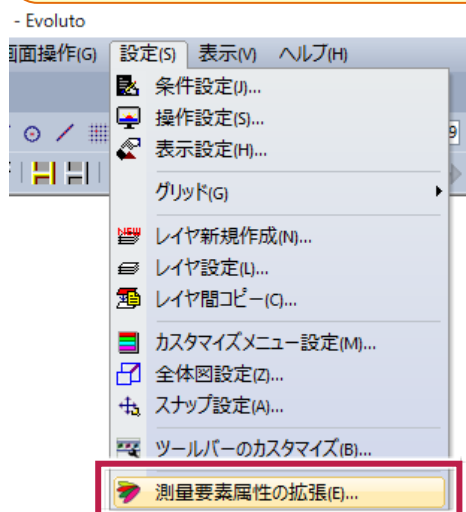
測点、ST、画地に、PDF や画像データをリンクし呼び出せるようにします。

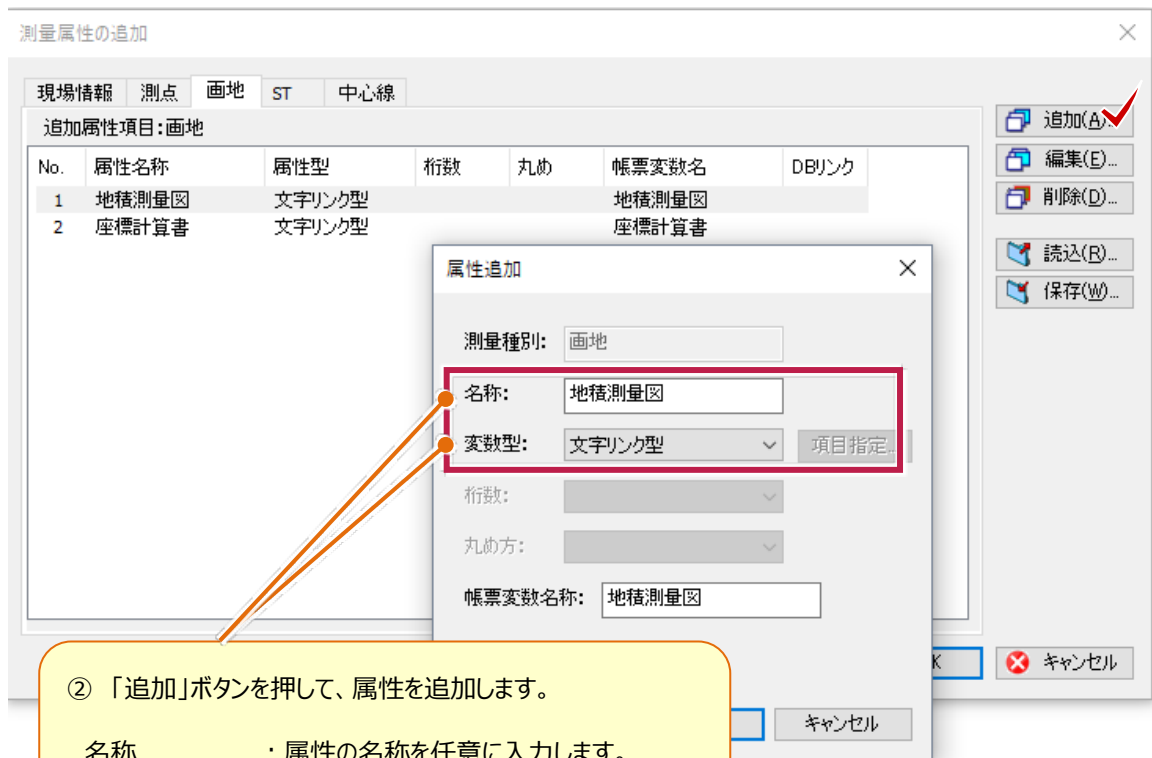
リンクは〔測量要素属性の拡張〕で、文字リンク型で設定追加した項目が対象になります。

リンクのキーは「測点名称」や「画地名称」に、リンクデータを区別するための付加文字の組み合わせで行います。

画地にリンクを張る例で説明を行います。

- ① 〔測量要素属性の拡張〕で、新規の属性を設定追加をします



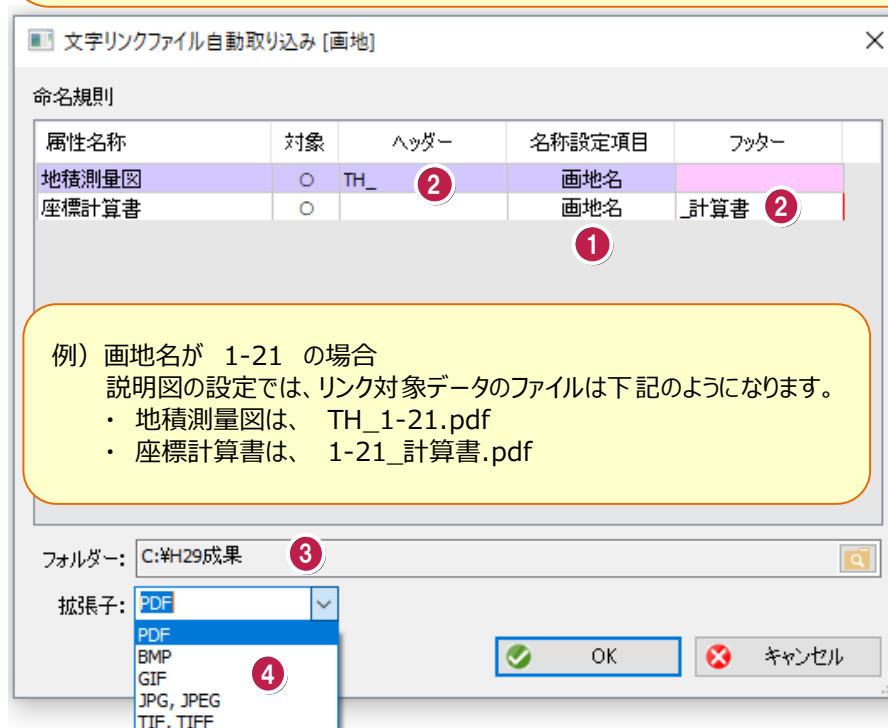


② 「追加」ボタンを押して、属性を追加します。

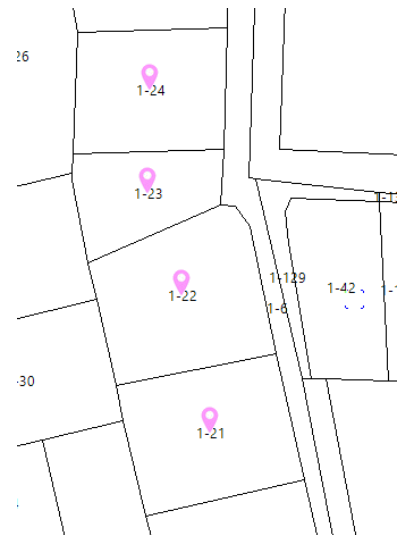
名称 : 属性の名称を任意に入力します。
変数型 : 「文字リンク型」を選択します。

③ [ファイル] - [属性取り込み] - [画地リンク属性自動割当] でリンク設定を行います。

1. 画地名が、主キーになります。
2. リンクするデータを区別するための付加文字（ヘッダー／フッター）を設定します。
3. 参照するデータがあるフォルダーを指定します。
4. リンク対象となるデータの拡張子を指定します。



 ボタンを押して、リンク付けを行います。



モニター

☐ 起動時は描画しない(M)

☒ リンクピンを表示する(L)

リンクしたデータは、画地を選

- 全選択
- 選択解除
- 選択要素の名称変更
- 選択要素の削除
- 選択要素の表示/非表示
- プロパティ
- コマンド起動
- 印刷
- CAD配置

地積測量図 C:\H29成果\TH_1-21.pdf

座標計算書 C:\H29成果\1-21_計算書.pdf

Adobe Acrobat Reader DC

表示 - ツール 01-21.pdf x

地 番 1-2-1 地 積 測 量 図

土地の存在

区画番号	面積	単位
2101	11.7324	㎡
2102	14.281	㎡
2103	10.934	㎡
2104	10.7424	㎡
2105	12.236	㎡
2106	10.4208	㎡
2107	10.4208	㎡
2108	10.4208	㎡
2109	10.4208	㎡
2110	10.4208	㎡
2111	10.4208	㎡
2112	10.4208	㎡
2113	10.4208	㎡
2114	10.4208	㎡
2115	10.4208	㎡
2116	10.4208	㎡
2117	10.4208	㎡
2118	10.4208	㎡
2119	10.4208	㎡
2120	10.4208	㎡
2121	10.4208	㎡
2122	10.4208	㎡
2123	10.4208	㎡
2124	10.4208	㎡
2125	10.4208	㎡
2126	10.4208	㎡
2127	10.4208	㎡
2128	10.4208	㎡
2129	10.4208	㎡
2130	10.4208	㎡
2131	10.4208	㎡
2132	10.4208	㎡
2133	10.4208	㎡
2134	10.4208	㎡
2135	10.4208	㎡
2136	10.4208	㎡
2137	10.4208	㎡
2138	10.4208	㎡
2139	10.4208	㎡
2140	10.4208	㎡
2141	10.4208	㎡
2142	10.4208	㎡
2143	10.4208	㎡
2144	10.4208	㎡
2145	10.4208	㎡
2146	10.4208	㎡
2147	10.4208	㎡
2148	10.4208	㎡
2149	10.4208	㎡
2150	10.4208	㎡
2151	10.4208	㎡
2152	10.4208	㎡
2153	10.4208	㎡
2154	10.4208	㎡
2155	10.4208	㎡
2156	10.4208	㎡
2157	10.4208	㎡
2158	10.4208	㎡
2159	10.4208	㎡
2160	10.4208	㎡
2161	10.4208	㎡
2162	10.4208	㎡
2163	10.4208	㎡
2164	10.4208	㎡
2165	10.4208	㎡
2166	10.4208	㎡
2167	10.4208	㎡
2168	10.4208	㎡
2169	10.4208	㎡
2170	10.4208	㎡
2171	10.4208	㎡
2172	10.4208	㎡
2173	10.4208	㎡
2174	10.4208	㎡
2175	10.4208	㎡
2176	10.4208	㎡
2177	10.4208	㎡
2178	10.4208	㎡
2179	10.4208	㎡
2180	10.4208	㎡
2181	10.4208	㎡
2182	10.4208	㎡
2183	10.4208	㎡
2184	10.4208	㎡
2185	10.4208	㎡
2186	10.4208	㎡
2187	10.4208	㎡
2188	10.4208	㎡
2189	10.4208	㎡
2190	10.4208	㎡
2191	10.4208	㎡
2192	10.4208	㎡
2193	10.4208	㎡
2194	10.4208	㎡
2195	10.4208	㎡
2196	10.4208	㎡
2197	10.4208	㎡
2198	10.4208	㎡
2199	10.4208	㎡
2200	10.4208	㎡
2201	10.4208	㎡
2202	10.4208	㎡
2203	10.4208	㎡
2204	10.4208	㎡
2205	10.4208	㎡
2206	10.420	

測点については、点の記の近景・遠景・要図1・要図2が初期設定としてあらかじめ用意されています。

文字リンクファイル自動取り込み [座標]

命名規則

属性名称	対象	ヘッダー	名称設定項目	フッター
点の記近景	×		点名	
点の記遠景	×		点名	
点の記要図1	×		点名	
点の記要図2	×		点名	

データのリンクを解除する場合は、画地シートでリンクファイル名を削除します。

画地

No	画地名	座標法面積	地積測量図	座標計算書
12	1-21	177.92181	C:\¥H29成果¥TH_1-21.pdf	C:\¥H29成果¥1-21_計算書.pdf
13	1-22	194.4388	C:\¥H29成果¥TH_1-22.pdf	
14	1-23	100.2463	C:\¥H29成果¥TH_1-23.pdf	
15	1-24	152.1326	C:\¥H29成果¥TH_1-24.pdf	

2-6 面積の計算で、「地籍の地積」と「登記の地積」の両方を計算

画地属性に「地籍の地積」及び「登記の地積」を追加して、それぞれに計算結果を保存できるようにしました。
「地籍の地積」は二重丸めを行います。

画地属性

旧地目	
所有者	9〇山定子
旧所有者	
大字	1〇田
小字	1字〇郷
精度区分	
住所	
右側面積	1116
地籍の地積	1116
登記の地積	1116
親地番番号	
元番番号	
色	
付属測点グループ番号	
座標法面積	1116.472000
三料法面積	
三料調整面積	
回り方向	-1(左回り)
図面画地分類	11:求積地1

【補足】2-6

画地の属性に、「地籍の地積」と「登記の地積」を追加しました。

〔画地〕－〔画地再計算〕で、計算条件とは無関係に固定の条件を使って計算した値を設定できます。

- ・「地籍の地積」は、小数点以下第4位を四捨五入してから3桁目を切り捨てます。（地籍測量 地籍簿案の丸め）
- ・「登記の地積」は、小数点以下3桁目を切り捨てます。

小数点以下4桁目が5以上でかつ3桁目が9の場合に、「地籍の地積」と「登記の地積」で差異が生じます。

追加された「地籍の地積」と「登記の地積」は、成果データとしては利用できません。

成果データとして利用するには、別途の画地属性である「台帳面積」に値を転記する必要があります。

〔画地再計算〕で、「台帳面積」に値を転記することもできます。

画地の属性に「地籍の地積」と「登記の地積」を追加しました

No	画地名	台帳面積	地籍の地積	登記の地積	座標法面積
VF 1	32				166.139793
VF 2	33				165.745782
VF 3	道-1				460.885171

〔画地〕－〔画地再計算〕で、計算条件に関わらず各々の地積を計算することができます。
また、「台帳面積」にどちらかの地積を転記することもできます。

画地再登録

画地の座標法面積を再計算します。

回り方向: ☒ そのま(1) ☐ 時計回り(2) ☐ 反時計回り(3)

三斜面積の再計算: ☒ 行う(4) ☐ 行わない(5)

☐ 最北の境界点を開始点とする(6)

☒ 地積(地籍の地積、登記の地積)を求める(7)

☒ 「地籍の地積」を台帳面積に複写する(8)
☐ 「登記の地籍」を台帳面積に複写する(9)
☐ 台帳面積は変更しない(0)

OK キャンセル

画地の属性に計算された値が設定されます。

(補足)

- ① 少数点以下の値により、「地籍の地積」と「登記の地積」に差異がでています。
- ② 宅地・鉱泉地および10㎡未満以外は、小数点以下が切り捨てられます。

No	画地名 ^	台帳面積	地籍の地積	登記の地積	座標法面積
VF 1 32		166.14	166.14 ①	166.13	166.139793
VF 2 33		165.74	165.74	165.74	165.745782
VF 3 道-1		460	460 ②	460	460.885171

「台帳面積」は、以下の成果値として利用できます。

- ① 図面の台帳面積
- ② 地籍フォーマット2000

図化作成条件の編集 現在の条件名称：測量図標準条件

2.測量図

- 求積画地1
- 求積画地2
- 求積画地3
- 求積画地4

	作成	色	ペン	...
画地名	☒	1	1:0.13	1:MSゴ
所有者	☐	1	1:0.13	1:MSゴ
地目	☐	1	1:0.13	1:MSゴ
面積	☒	1	1:0.13	1:MSゴ
大字	☐	1	1:0.13	1:MSゴ
小字	☐	1	1:0.13	1:MSゴ
台帳面積	☒	1	1:0.13	1:MSゴ
仮地番	☐	1	1:0.13	1:MSゴ

計算条件設定 [地籍]

共通

共通

入力SE

座標

トラバース

逆トラバース

画地

画地1

画地2

三斜

その他

路線計算

線形計算

地籍

ツール

地籍

字地目別面積印字 桁(A):

ブロック面積印字 桁(C):

地籍測定成果簿印字 桁(E):

地籍測定観測計算簿印字 桁(Q):

整理番号タイトル(G):

精度区分の印字方法(帳票): ☐ Nを付ける(H) ☒ Nを付けない(I)

精度区分の印字方法(図化): ☒ Nを付ける(J) ☐ Nを付けない(K)

計算点と判断する点名後文字(L):

地籍フォーマット2000

地籍の設定方法: ☐ 面積から計算(M) ☒ 台帳面積を優先(N)

2-7

事務支援連携する際、 調査区域「内外」の設定を測量計算で指示

「画地一覧」の右クリックメニューに「調査区域指定」を追加して、LandMapからLandStation-S上の調査前筆の「調査区域」を変更できるようにしました。

※連携が確立されている場合に動作します。

画地

No	画地名	地目	旧地目	所有者	旧所有者	
1	G1	2:畑	2:畑	2:高橋	2:高橋	1
2	K1	1:田		1:田中		1
3	K2	1:田		1:田中		1
4	G1-1	2:畑	2:畑	2:高橋	2:高橋	1
5	G1-2	2:畑	2:畑	2:高橋	2:高橋	1
6	G1-3	2:畑	2:畑	2:高橋	2:高橋	1

調査区域を「内」に設定する画地を選択して、右クリックメニューからコマンドを実行すると、既に連携済のLansStation-Sデータの調査前筆内データ「調査区内」が変更されます。

ファイル ホーム 作成 外部データ データベース ツール アドイン ヘルプ 検索

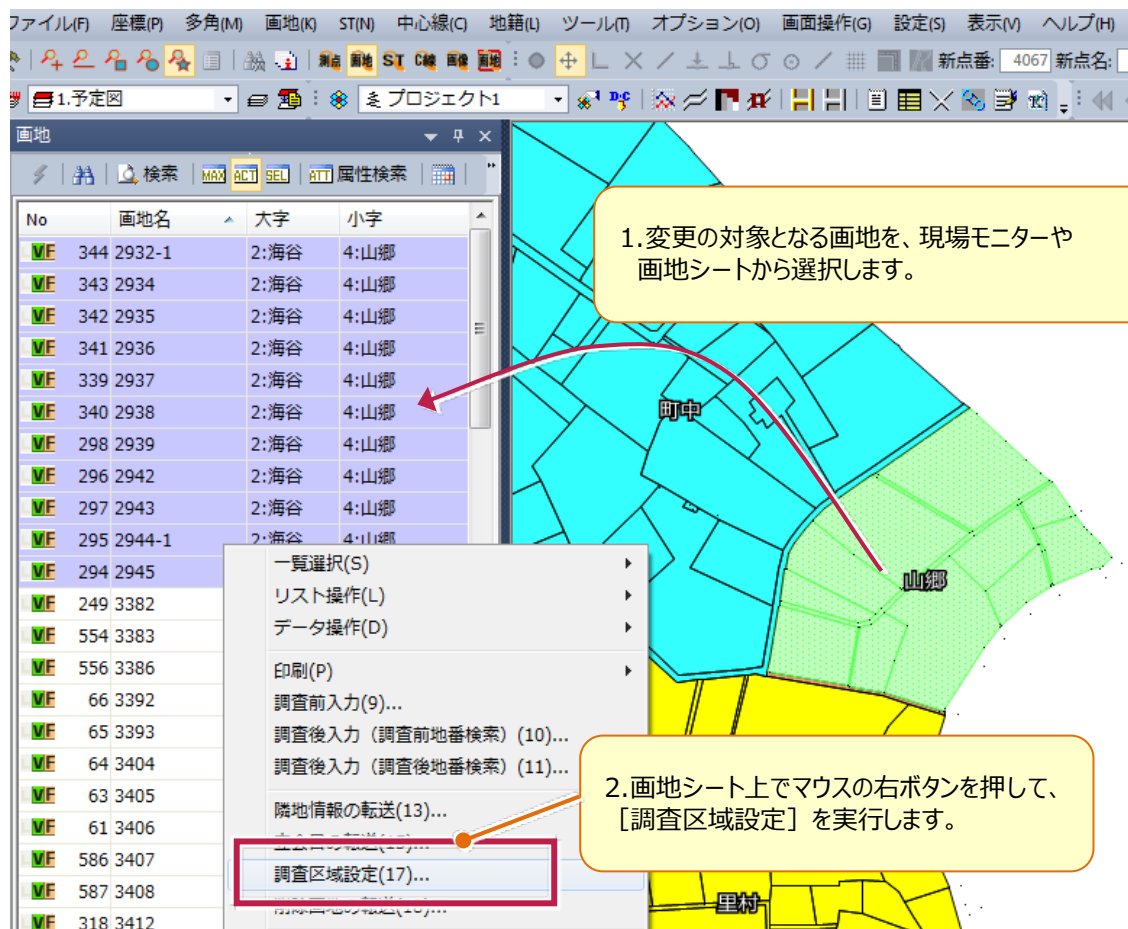
日 月 年 時 分 秒

区域全	内	外	リスト位置	並替設定	一覧表示	検索	内外設定	一筆
字の指定								
地番検索								
調査区域	内外	所在	地番	地目	地積	所在地		
☐	☒	〇田字〇郷	913-2	公衆用道路	33.34	東京都〇〇市		
☐	☒	〇田字〇郷	914-2	宅地	682.17	〇村〇郷・がらみ		
☒	☐	〇田字〇郷	915-1	宅地	772.24	〇郷美賀		
☐	☒	〇田字〇郷	915-4	宅地	184.53	〇岡高		
☐	☒	〇田字〇郷	915-5	公衆用道路	2.73	東京都〇〇市		

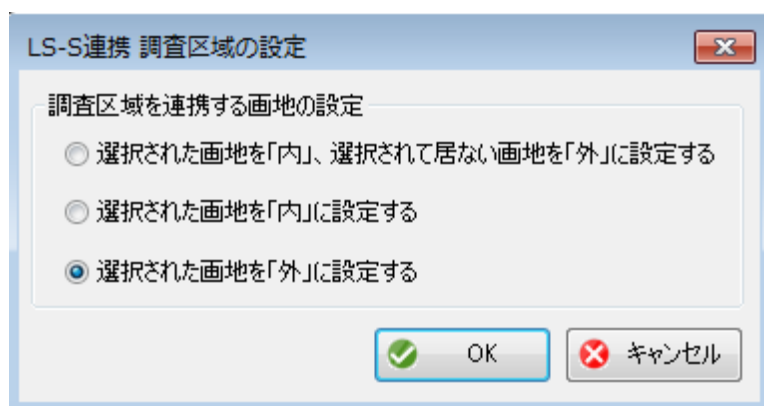
【補足】2-7

測量計算の現場モニターで視覚的に、調査区域内の画地かどうかの指示が行えます。

Land Station – Sと連携中の場合に実行することができ、調査前筆の調査区域を設定します。



調査区域の内外設定を選択します。



2-8

事務支援連携する際、不要な画地を測量計算で指示

〔画地〕 — 〔画地削除〕 に 〔LandStation-S上の筆を削除する〕 を追加して、LandMapからLandStation-S上の調査前筆を削除できるようにしました。



2-9

観測制限項目タブに「精度区分」の指定を追加

〔多角〕 — 〔多角プロジェクト〕 — 〔プロパティ〕 の 〔観測制限項目〕 タブに 〔精度区分〕 を追加しました。

〔工程と精度区分から観測制限値をセット〕 ボタンをクリックすると、〔精度区分〕 と 〔条件項目〕 タブの 〔工程〕 より、観測制限値が自動でセットされます。

多角プロジェクトのプロパティ

名称(A): 細部放射-2次

タイプ: ☒ トラバース(B) ☐ 基準点(公共、地籍)(C) ☐ 旧規程用(現行の作業規程では使用しません)(D)

項目
条件項目
精度管理表項目
観測制限項目

☒ 対回時の観測制限(A)

水平角観測

倍角差(B): 60 秒

観測差(C): 40 秒

較差(D): 1000 秒

鉛直角観測

高度定数の較差(E): 60 秒

距離測定

セット内較差(F): 20 mm

セット間較差(G): 20 mm

☐ 1級基準点(1) ☐ 2級(1級TS)(2) ☐ 2級(2級TS)(W)
☐ 3級基準点(3) ☐ 4級基準点(4) ☒ その他(Q)

精度区分: [v]
 工程と精度区分から観測制限値をセット

☒ 単回時の観測制限(G)

距離測定

セット内較差(H): 1000 mm

地籍点検測量

水平角許容範囲: 4500/S 秒 参照...

鉛直角許容範囲: 7500/S 秒

距離許容範囲: 0.015 m
 (例. "4500/S" Sは距離)

許容範囲の距離S

☐ 採用値(中数値)
☒ 点検値(野帳データ)優先

座標値の差

精度区分名称: 甲三 参照...

許容範囲: 100 mm

較差の丸め: 四捨五入

与点の点検

距離許容範囲: 100 mm 参照...

角度許容範囲: 40 秒

点検点の判定

判定ルール ☐ 先頭一致 ☒ 末尾一致

規約文字 X ☒ 規約文字の出力

OK キャンセル ヘルプ

【補足】2-9

地籍測量において、観測値の制限を自動的に設定ができるように「精度区分」を追加しました。
制限値は、「2-1 観測データのチェック」で参照されます。

多角プロジェクトのプロパティ

名称(A):

タイプ ☐ トラバース(B) ☒ 基準点(公共、地籍)(C) ☐ 旧規程用(現行の)

項目
条件項目
精度管理表項目
観測制限項目

両観測で両方に距離を記録した場合の処理
☒ 路線の進行方向側の距離を採用する(D)
☐ 器械点毎に、距離ありなしを繰り返すとする(E)
☐ 距離を平均する(F)

両観測時の高度角の取り扱い
☒ 高度角補正を行い高度角を平均する(G)

距離の補正方法
☐ 補正しない(平面距離)
☒ 投影補正、ジオイド補正
 屈折係数(X):

工程
 ①

「地籍測量」の場合は、観測の制限値を下記の項目の組み合わせから設定することができます。

- ① 条件項目の「工程」
- ② 観測制限項目の「精度区分」

多角プロジェクトのプロパティ

名称(A):

タイプ ☐ トラバース(B) ☒ 基準点(公共、地籍)(C) ☐ 旧規程用(現行の)

項目
条件項目
精度管理表項目
観測制限項目

☒ 対回時の観測制限(A)

水平角観測
 倍角差(B): 秒
 観測差(C): 秒
 較差(J): 秒

鉛直角観測
 高度定数の較差(D): 秒

距離測定
 セット内較差(E): mm
 セット間較差(F): mm

☐ 1級基準点(1) ☐ 2級(1級TS)(2) ☐ 2級(2級TS)(W)
☐ 3級基準点(3) ☐ 4級基準点(4) ☒ その他(5)

精度区分: ②

③

「工程」と「精度区分」を設定し、クリックすると制限値が設定されます

地籍作業規定 観測制限

		地籍図根多角測量：D						地籍図根多角測量省略地区：F					
		甲1	甲2	甲3	乙1	乙2	乙3	甲1	甲2	甲3	乙1	乙2	乙3
水平角	対回数	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
	倍較差	30s	30s	-	-	-	-	30s	60s	-	-	-	-
	観測差	20s	20s	-	-	-	-	20s	40s	-	-	-	-
	較差	-	-	20s	20s	40s	40s			20s	40s	40s	40s
鉛直角	対回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	高度定数較差	30s	30s	60s	60s	60s	60s	60s	60s	60s	60s	60s	60s
距離	回数	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット
	セット内較差	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm
	セット間較差	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm
備考		別表11						別表17					

		細部図根測量（多角法）：F						細部図根測量（放射法）：F					
		甲1	甲2	甲3	乙1	乙2	乙3	甲1	甲2	甲3	乙1	乙2	乙3
水平角	対回数	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
	倍較差	30s	60s	-	-	60s	60s	-	-	-	-	-	-
	観測差	20s	40s	-	-	40s	40s	-	-	-	-	-	-
	較差			20s	40s			20s	20s	30s	30s	40s	40s
鉛直角	対回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	高度定数較差	60s	60s	60s	60s	60s	60s	90s	90s	90s	90s	90s	90s
距離	回数	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	2セット	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット
	セット内較差	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	10mm	10mm	15mm	20mm	20mm	20mm
	セット間較差	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm	-	-	-	-	-	-
備考		別表17						別表20					

赤字（較差、高度定数較差）

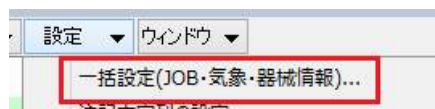
測定距離が50m未満の場合（Sは測定距離）

1000/S	1500/S	2000/S
4500/S		

地籍作業規定 観測制限

		一筆地測量					
		甲1	甲2	甲3	乙1	乙2	乙3
水平角	対回数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	倍較差	-	-	-	-	-	-
	観測差	-	-	-	-	-	-
	較差	-	-	-	-	-	-
鉛直角	対回数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	高度定数較差	-	-	-	-	-	-
距離	回数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	セット内較差	-	-	-	-	-	-
	セット間較差	-	-	-	-	-	-
備考		別表24					

「多角」－「多角プロジェクト」－「器械情報の設定」のコマンド名を「一括設定（JOB・気象・器械情報）」に変更して、「JOB情報」と「気象情報」を設定できるようにしました。



 A screenshot of the '一括設定(JOB・気象・器械情報)' (Batch Settings) dialog box. The dialog is divided into three sections: 'JOB情報' (Job Information), '気象情報' (Weather Information), and '器械情報' (Equipment Information). Each section contains several checkboxes and input fields, with a '未入力箇所のみ設定' (Set only for unfilled fields) checkbox checked for each. At the bottom, there are buttons for '全てON' (All ON), '全てOFF' (All OFF), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

Section	Item	Setting
JOB情報	業務名	☐ 未入力箇所のみ設定
	機種	☐ 未入力箇所のみ設定
	機種SN	☐ 未入力箇所のみ設定
	観測者	☐ 未入力箇所のみ設定
	観測日	☐ 未入力箇所のみ設定
気象情報	天候	☐ 未入力箇所のみ設定
	風力	☐ 未入力箇所のみ設定
	気温	☐ 未入力箇所のみ設定
	気圧	☐ 未入力箇所のみ設定
	PPM	☐ 未入力箇所のみ設定
	気圧単位	☐ 未入力箇所のみ設定
器械情報	目的	☐ 未入力箇所のみ設定
	器械定数	☐ 未入力箇所のみ設定
	ミラー定数	☐ 未入力箇所のみ設定

2-11

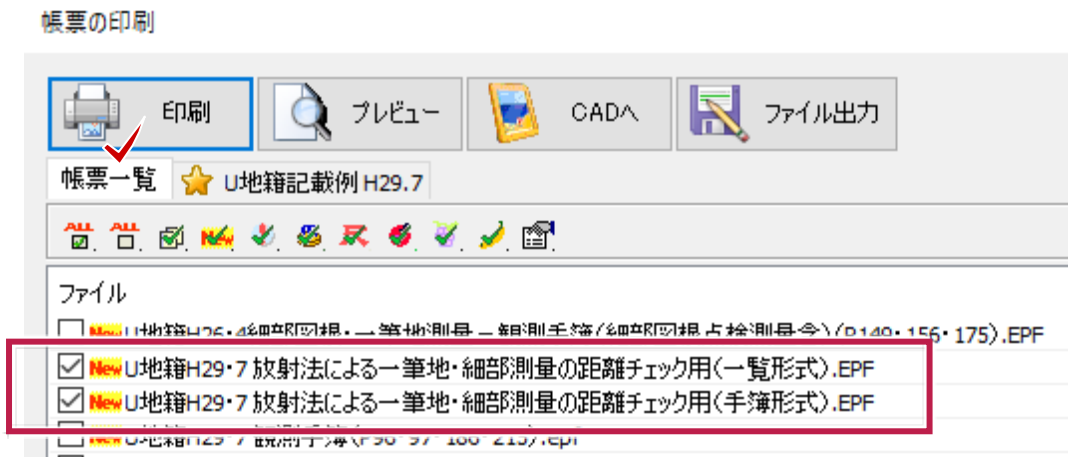
一筆地測量の距離を検査する変数を追加

観測手簿の変数として、「後視距離」「最長視準距離」「後視距離-最長視準距離」「後視距離-最長視準距離の可否の判定」「100m超過の判定」を追加しました。

標準提供帳票として、それらを配置した観測手簿帳票を2票追加しました。

【補足】2-11

〔多角〕－〔野帳処理〕の「帳票一覧」に、下記の帳票を追加しました。



一覧表形式の出力例。

放射法による 地籍図根多角測量観測距離チェックリスト

PAGE. 1
2018年10月18日

				①	②	③	③>0 可否	②より 100m以下 可否
器 械 点		後 視 点		与点から 基準方向までの 距離 (後視距離)	放射法による 新点までの 最長距離	①-② 距離の差		
点番	点名	点番	点名					
39	1211F4-7-1	26	1211D1-23-5	18.435	10.051	8.384	○	○
25	1211D1-23-4	26	1211D1-23-5	29.296	30.477	-1.181	×	○
1397	1211D1-23-3	64	1211D1-23-2	23.341	15.323	8.018	○	○
64	1211D1-23-2	1397	1211D1-23-3	23.343	12.924	10.419	○	○
28	1211D1-23-1	64	1211D1-23-2	17.869	13.829	4.040	○	○
27	1211F4-2-1	28	1211D1-23-1	24.651	10.656	13.995	○	○
8	1109D1-2-5	16	1109D1-2-4	30.413	25.371	5.042	○	○
2	1109D1-2-6	1410	1109D1-2-7	25.457	14.543	10.914	○	○
1410	1109D1-2-7	1411	1109D1-2-8	27.087	1.974	25.113	○	○
1336	1109D1-2-9	1411	1109D1-2-8	21.317	10.419	10.898	○	○
1416	1109F4-8-2	1415	1109F4-8-1	33.799	17.541	16.258	○	○
1415	1109F4-8-1	1416	1109F4-8-2	33.802	17.947	15.855	○	○

手簿表形式の出力例。
器械点ごとに検査結果を印字します。

観測手簿

PAGE 2

測点	1211D1-23-4	観測年月日	2014/10/21
観測状況	B=P=C	天候	曇り 風力 軟風
測器名	TS ○○○○	器械番号	NO. 10000
器械高	m	器械定数	mm
気温	21.0 °C	気圧	1013.0 hPa
開始時刻	10:02	終了時刻	10:41
気象補正	+6.0 ppm		

後視距離: 29.296 新点最長距離: 30.477 後視と新点の距離の差: -1.181 × 新点100m以下: ○

目盛	望遠鏡	番号	視準点 番号・名称	水平角		倍角	較差	平均値
				観測角 (° ' ")	結果 (° ' ")			
r		1	1211D1-23-5	0-00-00	0-00-00			
		2	142400328	298-53-48	298-53-48			
		3	142400327	302-35-09	302-35-09			

2-12 取り付け無しの水平角を抹消する変数を追加

観測手簿の変数として、「水平角抹消斜線開始」、及び「水平角抹消斜線終了」を追加しました。
また、観測記簿の変数として、「水平角斜線開始」、及び「水平角斜線終了」を追加しました。

2-13 距離を両観測する時、 採用されない側の距離を抹消する変数を追加

観測手簿の変数として、「不採用距離抹消斜線開始」、及び「不採用距離抹消斜線終了」を追加しました。

測点: M=交1

水平角に関する偏心: B=P=C
鉛直角に関する偏心: B=P=C
距離に関する偏心: B=P=C

測点名: A=M=110-3 P=C M=M=12-2 P=C M=交2 P=C

偏心距離: 電算No: 9 11 12

平均ジオイド高 = 33.545 m
ジオイド高 = m
縮尺係数 = 0.999907 (平均)

【水平角】		
平均値	0-00-00	74-47-03
観測の偏心		
目標の偏心		
帰零数		

【距離】		
器械高 g	m	1.396
反射鏡高 m		0.102
補正数 d α 1		0-00-00
" d α 2		2-02-26
補正後 α 1		1-02-15
" α 2		-1-01-54
(α 1 + α 2) / 2		1-02-05
測定距離 D		38.030
基準面上の距離 S		38.023
座標上の距離 s		38.019
備考		

観測した距離が計算には使用されていません。

2-14

一筆地測量の観測手簿に平均標高を印字する変数を追加

観測手簿の変数として、「平均標高」を追加しました。

2-15

与点の点検（帳票印刷）の際、
器械点と後視点の組み合わせを絞り込む設定を追加

〔多角〕－〔野帳処理〕の〔設定〕に〔野帳印刷〔細部・一筆 与点の点検〕設定〕を追加して、〔与点の点検・印刷設定〕ダイアログで、器械点と後視点の組み合わせを絞り込むようにしました。

与点の点検・印刷設定

細部・一筆 与点の点検

☒ 全て

☐ 後視に距離観測あり

☐ 器械点の「基準点種別」が「与点」で後視に距離観測あり

☐ 器械点または後視点の「基準点種別」が「与点」で後視に距離観測あり

☐ 器械点および後視点の「基準点種別」が「与点」で後視に距離観測あり

OK キャンセル

【補足】2-15

地籍測量で細部図根測量（放射法及び開放路線）の観測における与点の点検で、距離の点検観測の組み合わせを指定できるようにしました。

従来は、全て無条件に印字をおこなっていました。

- ・距離を観測していれば、距離の点検として印字します。
- ・距離を観測していなければ、水平角の点検として印字します。

今回は、距離の点検において「器械点」と「後視点」の組み合わせの指定ができるようになりました。

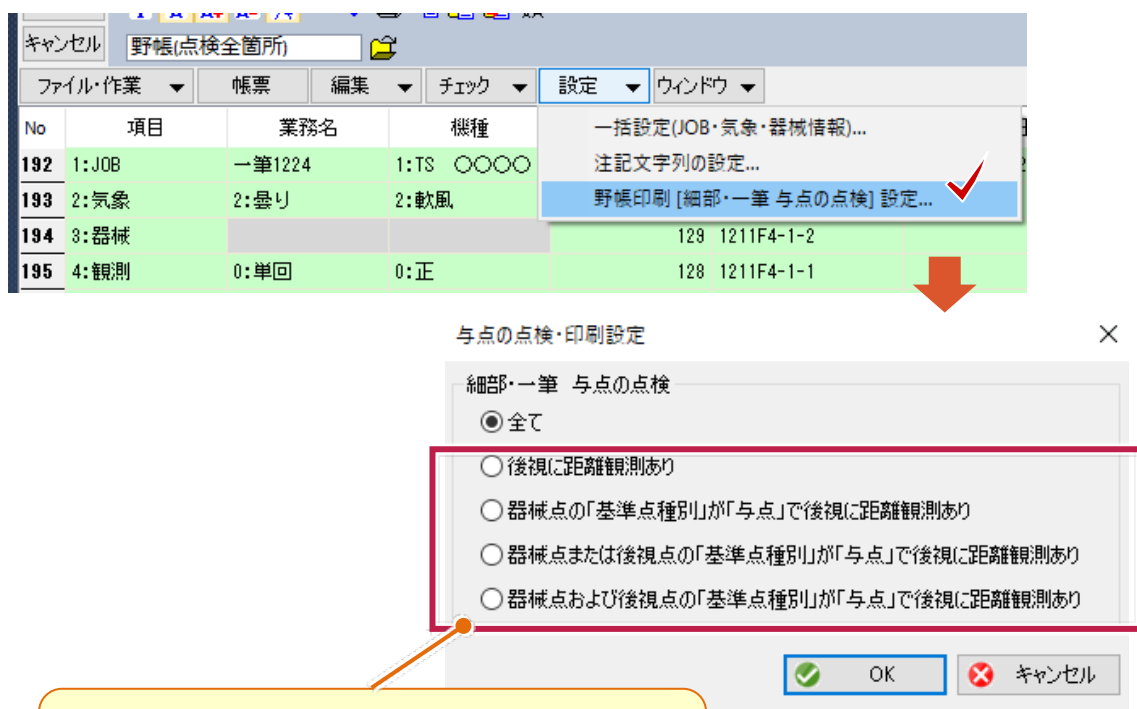
距離の観測は必須です。

- ・「後視に距離あり」は、従来とおり距離の観測があれば印字します。
- ・「後視に距離あり」以外は、器械または後視点の基準点種別が「与点」に設定されている組み合わせで印字します。
- ・Ver8で追加された設定で距離の観測がされていない場合は、Output ウィンドウに対象箇所が出力されますので必要に応じて距離の確認を行います。

従来（Ver7と同様）の判断で帳票出力を行う場合は、「全て」のモードを選択します。

対象の帳票ファイル（ [多角] - [野帳処理] ）

U 地籍 H29・7 地籍細部測量 - 与点の点検 (P232・P237・P256) .epf



Ver8で追加された設定。
距離の点検をする対象の観測が指定できるようにしました。

◎ 器械点の「基準点種別」が「与点」で後視に距離観測あり

・帳票出力した例

1211F4-1-3 の基準点種別が「与点」になっていないので帳票に印字されません。

座標

野帳編集：野帳(点検箇所)

実行 終了 キャンセル 野帳(点検箇所)

ファイル作業 帳票 編集 チェック 設定 ウィンドウ

No	点名	基準点種別
128	1211F4-1-1	
129	1211F4-1-2	1:与点
130	1211F4-1-3	1:与点
131	1211F4-1-4	
132	1211F4-1-5	
27	1211F4-2-1	
29	1211F4-2-2	
30	1211F4-2-3	
33	1211F4-2-4	
34	1211F4-2-5	
35	1211F4-2-6	
36	1211F4-2-7	
166	1211F4-3-1	
20	1211F4-4-1	
24	1211F4-4-2	
18	1211F4-5-1	
3	1211F4-6-1	
101	1211F4-6-2	
5	1211F4-6-3	

No	項目	業務名	機種	機種SN	観測者
191	4:観測	0:単回	0:正	1436	142401056
192	1:JOB	一筆1224	1:TS ○○○○	1:NO.10000	2:福井 太郎
193	2:気象	2:曇り	2:軟風	5.00	1013.00
194	3:器械			128	1211F4-1-2
195	4:観測	0:単回	0:正	128	1211F4-1-1
196	4:観測	0:単回	0:正	1457	142400629
197	3:器械			130	1211F4-1-3
198	4:観測	0:単回	0:正	129	1211F4-1-2
199	4:観測	0:単回	0:正	1461	142400632
200	3:器械			131	1211F4-1-4
201	4:観測	0:単回	0:正	132	1211F4-1-5
202	4:観測	0:単回	0:正	1466	142400636
203	4:観測	0:単回	0:正	1468	142400639

地籍図根多角測量（放射法） 与点の点検

PAGE 1

精度区分	地籍図根多角甲 1	水平角				水平距離又は平面距離			
測点名	視準点名	点検値 (° ' ")	成果値 (° ' ")	較差 (° ' ")	許容範囲 (° ' ")	点検値 (m)	成果値 (m)	較差 (m)	許容範囲 (m)
1211F4-1-2	1211F4-1-1	—	—	—	—	76.222	76.217	0.005	0.100
1211F4-1-4	1211F4-1-5	—	—	—	—	32.715	32.712	0.003	0.100

Output

器械点名:[1211D1-26-1] 視準点名:[1211-交-14]にて、距離観測が無かったため帳票への出力を行いませんでした。

出力対象の測点で距離の観測がされていないと、Outputウィンドウに表示されます。

共通視準点のある器械点の中数値変換方法に 対回の場合も合成しない設定を追加

〔設定〕－〔操作設定〕の〔共通視準点のある器械点の中数値変換方法〕に、「工程「細部図根測量(放射法)」及び「一筆地測量」は合成しない」を追加しました。

操作設定

コマンドの優先入力モード
☐ 点番(N) ☒ 点名(P)

測点指定時のスナップにて
☒ プロット以外で新点を作成する

入力SE
☒ コマンド終了時の確認をする(E)
☐ [終了]でも[登録]する(D)
☐ 入力セルに対応する要素を自動的にモニターする(M)

アウトプット
☒ アウトプットを表示する(O)

多角計算
☐ すべての多角プロジェクトの路線をモニターに表示する(作業プロジェクト以外は特殊表示4の色で表示します)
☐ 中数値変更によるトラバース自動更新。(OFFの場合は、作成路線の操作で更新)
☒ 網表示の際に図郭を表示する

モニター
☐ 起動時は描画しない(M)
☒ リンクピンを表示する(L) リンクレビュー時間: 1 秒

検索
☐ マウス操作で属性情報を表示する(コマンド起動時は非表示)

中間点計算(線形)
☒ 路線データのNo間ピッチで、入力SEに自動展開する(C)

巾杭計算(線形)
☒ 巾杭計算時に中間点計算の追加距離を入力SEに自動展開する(H)

定方向・1定点分割計算
☐ 対象要素のみモニター表示する(V)

標記
☐ 地目・旧地目を現況と登記にする(システムの再起動が必要)(U)

地籍
 "本点"の判定
☐ 「標識区分」が「1:非埋標」の時
☐ 「標識区分」が「2:埋標(兼基準杭)」の時
☐ 「標識区分」が「3:埋標(その他)」の時
☒ 「標識区分」が「4:本点」の時
☐ 「標識区分」が「5:永久標識」の時
☐ 「標識区分」が「6:節点」の時
☐ 「標識区分」が「0:不明等」もしくは上記以外の時

「標識区分」の略記号
 「1:非埋標」の時:
 「2:埋標(兼基準杭)」の時: 基準杭
 「3:埋標(その他)」の時:
 「4:本点」の時: 本
 「5:永久標識」の時:
 「6:節点」の時:
 「0:不明等」もしくは上記以外の時:

地籍式ソート
☐ 交点を前 ☒ 交点を後ろ

野帳処理
☐ 手簿の全対回に点名印字

共通視準点のある器械点の中数値変換方法
☒ 工程「細部図根測量(放射法)」及び「一筆地測量」は合成しない
☐ 単回観測のみの野帳は合成しない
☐ 工程、対回数に関わらず常に合成する

OK キャンセル ヘルプ

【補足】2-16

対回の観測であっても、地籍測量の細部図根測量（放射法:F）の場合には中数値で観測データを1つにまとめない設定を追加しました。

同じ器械点で複数回器械を据えて観測した場合に、

単回の観測は中数値で1つにまとめないことができていましたが、

多角プロジェクトの「工程」により、対回の観測でも中数値で1つにまとめないようにしました。

対象となる「工程」は、細部図根測量（放射法：F）と一筆地測量です。

中数値のまとめ方は、路線作成に関わります。

まとめない場合は、観測データごとに路線が作成されます。

まとめた場合は、1路線で作成されます。（手簿は分かれてますが、路線計算書は1つとなります）

中数値のまとめ方は、[設定] - [操作設定] の下図の設定を参照します。

共通視準点のある器械点の中数値変換方法

- ☒ 工程「細部図根測量(放射法):F」及び「一筆地測量」は合成しない
- ☐ 単回観測のみの野帳は合成しない
- ☐ 工程、対回数に関わらず常に合成する

「工程」は、[多角プロジェクト] の「条件項目」-「工程」の設定を参照します。

多角プロジェクトのプロパティ

名称(A): 細部図根点 放射

タイプ ☐ トラバース(B) ☒ 基準点(公共、地籍)(C) ☐ 旧規程用(現行の)

項目

- 条件項目**
- 精度管理表項目
- 観測制限項目

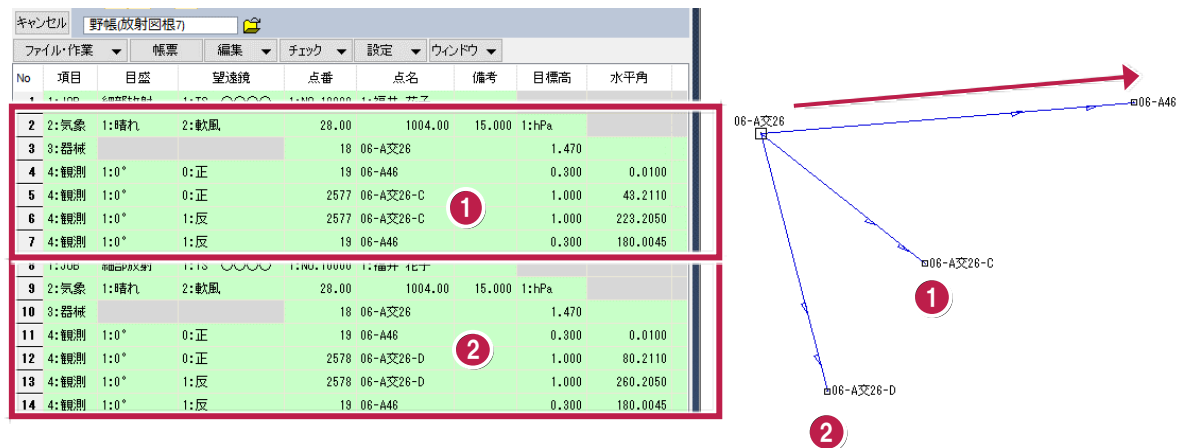
両観測で両方に距離を記録した場合の処理

- ☒ 路線の進行方向側の距離を採用する(D)
- ☐ 器械点毎に、距離ありなしを繰り返すとする(E)
- ☐ 距離を平均する(F)

工程

細部図根測量(放射法):F

作業の都合で同じ器械点・後視点に据えて、異なる細部図根点（対回観測）を別々に観測しました。



中数値編集						
実行						
終了						
No	項目	視準点番	視準点名	水平角H	高度角α	斜距離D
1	1:器械	18	06-A交26			
2	2:視準	19	06-A46	0.0000	-1.2930	65.2270
3	2:視準	2577	06-A交26-C	43.2008	-0.0923	36.5070
4	1:器械	18	06-A交26			
5	2:視準	19	06-A46	0.0000	-1.2930	65.2270
6	2:視準	2578	06-A交26-D	80.2008	-0.0923	46.5070

中数値をまとめない場合は、
観測ごとに分かれて路線作成・座標計算が行われます。

PAGE 1

細部図根測量座標計算書（放射法）

測点名	視準点名	観測角 (° ' ")	方向角 (° ' ")	距離 (m)	X座標 (m)	Y座標 (m)	備考
06-A交26	06-A46	0-00-00	85-18-29		-94502.478	12340.296	
	06-A交26-C	43-20-08	128-38-37	36.507	-94525.276	12368.810	
06-A交26	06-A46	0-00-00	85-18-29		-94502.478	12340.296	
	06-A交26-D	80-20-08	165-38-37	46.507	-94547.533	12351.828	

中数値編集						
実行 終了						
No	項目	視準点番	視準点名	水平角H	高度角α	斜距離D
1	1:器械	18	06-A交26			
2	2:視準	19	06-A46	0.0000	-1.2930	65.2270
3	2:視準	2577	06-A交26-C	43.2008	-0.0923	36.5070
4	2:視準	2578	06-A交26-D	80.2008	-0.0923	46.5070

中数値をまとめた場合は、
全ての観測をまとめて路線作成・座標計算が行われます。

PAGE 1

細部図根測量座標計算書（放射法）

測点名	視準点名	観測角 (° ' ")	方向角 (° ' ")	距離 (m)	X座標 (m)	Y座標 (m)	備考
06-A交26	06-A46	0-00-00	85-18-29		-94502.478	12340.296	
	06-A交26-C	43-20-08	128-38-37	36.507	-94525.276	12368.810	
	06-A交26-D	80-20-08	165-38-37	46.507	-94547.533	12351.828	

2-17 路線計算書に「RLの差」を印字する変数を追加

路線計算書の変数として、「斜距離」、「高度角」、及び「高低差」について「正反の差」を求める変数を追加しました。

2-18 帳票印刷の改ページの扱いを強化

〔多角〕－〔作成路線の操作〕の〔路線作成の帳票〕の〔帳票の設定〕ダイアログの〔改ページの方法〕で帳票印刷の改ページを行うように変更しました。

帳票の設定

ファイル

U地籍H26・4一筆地測量一観測記録(放射法)(P176)後視距離有り.epf

OK

タイトル

キャンセル

アイコン

New

ヘルプ

改ページの方法

☒ 連続(R)
☐ 画地・路線毎[単/ページ](T)
☐ 画地・路線毎[複/ページ](M)

色を指定する(C)

(OFFの場合は、フォーマットの色になります)

文字の色(O)

変数の色(V)

線の色(L)

フォントを変更する(T)

文字フォント

変数フォント

☒ 線を印刷する(G)
☐ 途中で改ページした際に最終行を復帰する(B)

余白

左(E)

20.0

mm

上(H)

10.0

mm

下(F)

10.0

mm

段組数(D)

1

段組間隔(M)

15.0

mm

2-19

座標、座標属性を更新する測点がロックされている場合の警告表示を追加

ロックにより座標等の値を更新できない測点がある場合、点名を表示して更新できない旨を警告表示するようにしました。
(厳密網平均計算、与点登録も適用します。)

【補足】2-19

座標計算や座標属性の更新時に測点がロックされていて、データの更新ができない場合は警告のウィンドウを表示します。

〔与点登録〕の各種計算での説明。
測点がロックされています。("L")

座標				
No	点名	X座標	Y座標	ジオイド高
LVE 1	▽A@21	-168642.793	23852.83	
LVE 2	▽M@23	-168915.620	23913.46	
LVE 3	▽M@22	-168770.975	23938.04	
LVE 4	▽M@24	-168807.785	24030.09	

〔与点登録〕の各種計算を行うとジオイド高などが計算されますが、ロック状態なのでデータ更新ができません。
「実行」ボタンを押すと、データの更新ができていない警告のウィンドウを表示するようにしました。

3

実行

終了

No	計算	与点番号	与点名	X	Y	標高	等級	ジオイド高	緯度	経度	真北方向
1	○	1	▽A@21	-168642.7930	23852.8370	144.4030		33.55133842	34.28462519	132.2534861	-0.08492386
2	○	3	▽M@22	-168770.9750	23938.0480	129.3820		33.54592190	34.28420846	132.2538188	-0.08511063
3	○	2	▽M@23	-168915.6200	23913.4600	109.7940		33.53922892	34.28373921	132.2537210	-0.08505349
4	○	4	▽M@24	-168807.7850	24030.0910	120.0450		33.54470915	34.28408822	132.2541792	-0.08531418
5	×										

1

2

与点登録

以下の座標はロックされていた為、座標属性(ジオイド高・縮尺係数等)の更新が出来ませんでした

1 : ▽A@21
3 : ▽M@22
2 : ▽M@23
4 : ▽M@24

4

OK

並べ替え... 属性一括... 各種計算... 帳票...

厳密網計算での出力例

厳密網平均(観測方程式) 解析結果 取得中

XY網平均計算

- ✓ Step1:点名No.付け
- ✓ Step2:誤差係数(距離)
- ✓ Step3:誤差係数(角度)
- ✓ Step4:化成式
- ✓ Step5:連立ファイルセット
- ✓ Step6:Matrixの構成(角度)
- ✓ Step7:Matrixの構成
- ✓ Step8:Matrixの構成(距離)
- ✓ Step9:連立方程式
- ✓ Step10:平均自乗誤差,緯度経度計算

解析

	18 / 18
	13 / 13
	14 / 14
	14 / 14
	20 / 20

☒ OK

トラス計算

以下の座標はロックされていた為、座標の更新が出来ませんでした

- 3 : 1211F4-6-1
- 5 : 1211F4-6-3
- 6 : 1211F4-6-4
- 18 : 1211F4-5-1
- 19 : 1211-交-15
- 20 : 1211F4-4-1
- 24 : 1211F4-4-2
- 101 : 1211F4-6-2
- 163 : 1211-交-16
- 166 : 1211F4-3-1

OK

高低網平均計算

- ✓ Step1:点名No.付け
- ✓ Step2:データ比較
- ✓ Step3:距離計算
- ✓ Step4:係数計算
- ✓ Step5:連立ファイルセット
- ✓ Step6:Matrixの構成
- ✓ Step7:連立方程式
- ✓ Step8:平均自乗誤差

	10 / 10
	14 / 14
	10 / 10
	10 / 10

解析終了 単位重量の標準偏差 28.7356 "

2-20

「各種計算」で計算の対象とする与点を絞り込む機能を追加

計算欄を追加して、「○」「×」を設定します。

「×」が設定された与点は、各種計算を行わず、平均ジョイド高、平均縮尺、及び帳票印刷の対象になりません。

与点登録					
実行 終了					
No	計算	与点番号	与点名	X	Y
1	○	301	IV南鵜	141028.0980	25009.1740
2	○	302	10022	141107.4600	24586.4910
3	○	303	10025	140961.4950	24839.3110
4	○	304	10028	140853.3400	24689.4790
5	○	305	10027	140875.0680	25115.6990

【補足】2-20

〔与点登録〕で、路線計算に用いる平均ジョイド高・平均縮尺係数の算出に用いる測点を選択できるようにしました。
現場の範囲から、大きく外れた取り付け点を平均ジョイド高・平均縮尺係数の計算対象から除外することができます。

現場範囲から大きく外れた取付点を、平均ジョイド・平均縮尺係数の計算対象から外せます。

与点登録

実行

終了

No	計算	与点番号	与点名	X	Y	標高
1	×	1	IV西境田	87558.6690	51489.0120	333.6200
2	×	2	IV中平	88325.9390	54265.4230	307.8600
3	○	3	IV月ノ内	88775.8030	52588.9360	272.0700
4	×	4	IV堂ノ入	89780.8810	51912.6070	319.0600
5	×	5	IV萩平	90194.6220	53882.3780	370.9000
6	○	6	IV橋ノ沢	88200.5210	52070.3480	309.1900
7	○	7	K113	88381.0190	52888.5420	352.5990
8	○	8	W101	88792.0960	53132.9700	349.1400
9	○	10	W102	89125.2290	54168.9090	385.8650
10	○	11	J115	88533.6400	52279.4510	275.5610
11	○	12	J116	88070.8550	51954.1420	303.0850
12	○	13	J117	88030.6790	52437.5790	250.9690

並べ替え...

属性一括...

各種計算...

帳票...

地籍式ソート

計算対象: 全てON 全てOFF

各種計算

☒ ジオイド高(G)
☒ 緯度,経度(B)
☒ 真北方向(N)
☒ 縮尺係数(S)
☐ 主線計算
☒ 平均ジオイド高をプロジェクトに設定する(X)
☒ 平均縮尺係数をプロジェクトに設定する(Y)

ジオイドデータベース(D):
C:\FcApp\2000\gsigeo2011_ver2.asc

OK キャンセル ヘルプ

各種計算... 帳票... 地籍式ソート 計算対象: 全てON

「各種計算」で、多角プロジェクトに反映する平均ジオイド高と平均縮尺係数の算出から除外されます。

ジオイド高

☐ 与点の平均を使用する(M)
☒ 平均ジオイド高を使用する(N) 42.5860643 m 計算(1)...

縮尺係数

☐ 与点の平均を使用する(O)
☒ 平均縮尺係数を使用する(P) 0.999934204 計算(2)...

42.5915949 m

0.999934293 計

(参考)
全ての与点を対象にした平均値

帳票の印刷

印刷 プレビュー CADへ ファイル出力

帳票一覧 ☆ U地籍記載例 H29.7

ファイル

☒ New U地籍H26・4地籍図根多角測量 - 平均ジオイド高及び平均縮尺係数の計算(P70).epf
☐ New U地籍H29・7平均ジオイド高及び平均縮尺係数の計算(P100・P188).epf
☐ New U地籍H24・1与点入力データ(P89).EPF
☐ New 与点入力データ.EPF
☐ New 与点情報リスト.EPF
☐ New 平均ジオイド高計算.EPF
☐ New 平均縮尺係数計算.EPF

帳票...

与点リストの計算書も、
計算対象の与点だけが印字されます。

平均ジオイド高及び平均縮尺係数の計算

PAGE 1

与点名	X座標	Y座標	標高	ジオイド高	縮尺係数
IV月ノ内	88775.803	52588.936	272.070	42.597	0.999934
IV橋ノ沢	88200.521	52070.348	309.190	42.586	0.999933
K113	88381.019	52898.542	352.599	42.577	0.999934
W101	88792.096	53132.970	349.140	42.590	0.999935
W102	89125.229	54168.909	385.865	42.590	0.999936
J115	88533.640	52279.451	275.561	42.594	0.999934
J116	88070.855	51954.142	303.085	42.583	0.999933
J117	88030.679	52437.579	250.969	42.572	0.999934
平均				42.586	0.999934

2-21

点検路線一覧の情報を強化

表示項目として、「方向角閉合差」及び「方向角許容範囲」を追加し、標高閉合差、位置閉合差、方向角閉合差の許容範囲に対する合否を表記するようにしました。

また、[クリップボード] ボタンを追加して、一覧表の内容をクリップボードへ出力できるようにしました。

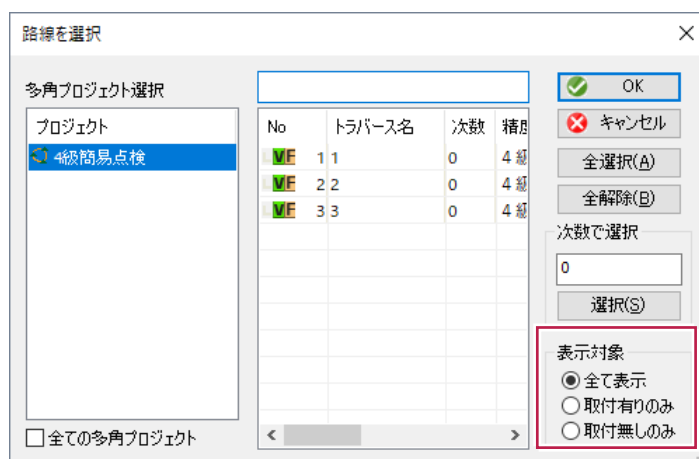
容範囲	合否	位置閉合差	位置許容範囲	合否	方向角閉合差	方向角許容範囲	合否
1.189636	○	0.021932	0.21290	○	0-00-02.000	0-01-44.82	○
1.192425	○	0.040025	0.2036	○	0-00-55.000	0-01-50.000	○
1.039686	○	0.005000	0.153517	○	0-00-52.000	0-01-19.372	○



2-22

点検路線の一覧で、取付の有無による路線の絞り込みを追加

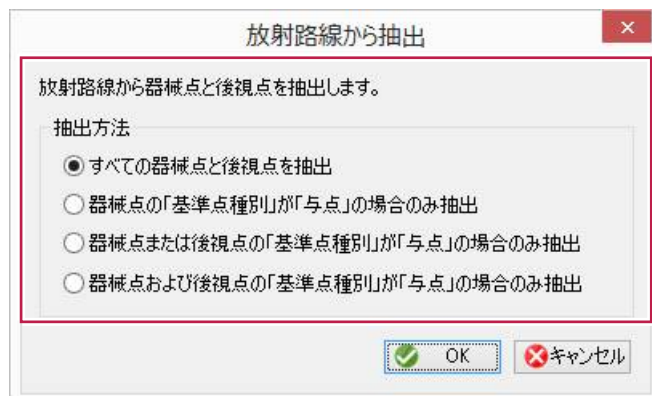
[多角] - [基準点精度管理表] の [点検路線] タブの [参照] ボタンをクリックして表示される [路線を選択] ダイアログに [表示対象] を追加して、「取付有りのみ」、及び「取付無しのみ」を絞り込んだ表示を可能にしました。



2-23

放射路線から器械点と後視点の組み合わせを抽出

【ツール】－【方向角距離計算】に【放射路線から抽出】ボタンを追加して、【放射路線から抽出】ダイアログで抽出方法を選択できるようにしました。



【補足】2-23

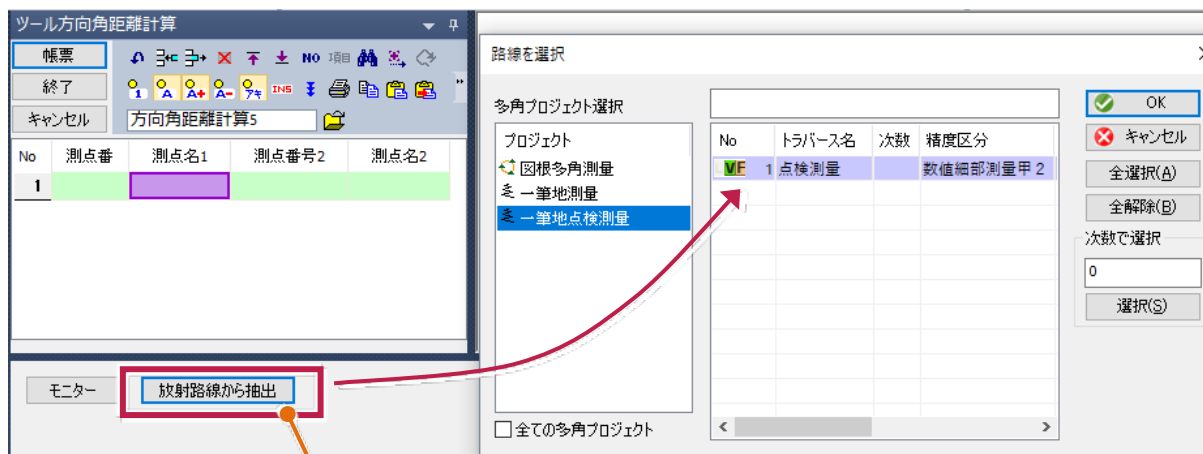
地籍測量の放射法（細部図根測量・一筆地測量）で作業をし、また与点の点検を行った場合に観測点と基準方向の方向角がわかる計算書を出力するための機能です。

【ツール】－【方向角距離計算】で、

1. 点検用の測点を放射路線から呼び出せるようになりました。
2. H29 年記載例 ST 計算結果の帳票様式にあわせた帳票が出力できます。
3. 放射路線から測点を呼び出す場合に、点検箇所の絞り込みもできます。

計算書は、

U 地籍 H29・7 与点の点検（放射法）ST 計算結果（P231・P236・P253・P255）.EPF



【ツール】－【方向角距離計算】で、対象とする測点を放射路線から呼び出しができるようになりました。

放射路線から、点検用として印字する測点の指定を行います。

放射路線から抽出

×

放射路線から器械点と後視点を抽出します。

抽出方法

- ☐ すべての器械点と後視点を抽出
- ☐ 器械点の「基準点種別」が「与点」の場合のみ抽出
- ☐ 器械点または後視点の「基準点種別」が「与点」の場合のみ抽出
- ☒ 器械点および後視点の「基準点種別」が「与点」の場合のみ抽出

指定された抽出方法に合致する測点が展開されます。

No	測点番	測点名1	測点番号2	測点名2
1	57	1211D1-26-1A	1396	1211D1-26-1
2	69	1211-交-10A	1340	1211-交-10
3	51	1211D1-17-3A	1404	1211D1-17-3
4	21	1211-交-3A	1370	1211-交-3
5	31	1211D1-12-5A	1362	1211D1-12-5

帳票の印刷

印刷
 プレビュー
 CADへ
 ファイル出力

帳票一覧
 ★ U地籍記載例 H29.7

ファイル

☒ New U地籍H29・7与点の点検(放射法)ST計算結果(P231・P236・P253・P255).EPF

帳票を出力します

PAGE 1
世界測地系(測地成果2011)

ST計算結果

現場名 ○○市△△地区

点名	点区分	X座標(m)	Y座標(m)	方向角	距離(m)
1211D1-26-1A	与件	-50119.809	41556.099	340-27-54	19.289
1211D1-26-1	与件	-50101.630	41549.649		

点名	点区分	X座標(m)	Y座標(m)	方向角	距離(m)
1211-交-10A	与件	-49956.632	41044.640	38-10-37	71.067
1211-交-10	与件	-49900.766	41088.566		

点名	点区分	X座標(m)	Y座標(m)	方向角	距離(m)
1211D1-17-3A	与件	-50030.558	41312.598	128-08-35	45.895
1211D1-17-3	与件	-50058.904	41348.693		

点名	点区分	X座標(m)	Y座標(m)	方向角	距離(m)
1211-交-3A	与件	-49647.917	41562.452	242-02-28	23.441
1211-交-3	与件	-49658.907	41541.747		

点名	点区分	X座標(m)	Y座標(m)	方向角	距離(m)
1211D1-12-5A	与件	-49895.569	41169.936	140-20-42	73.395
1211D1-12-5	与件	-49952.076	41216.774		

2-24

時間毎の色設定を強化

〔画地〕－〔画地属性モニター割付〕－〔立会日時〕の〔立会日・立会時間の変更〕ダイアログの〔色更新〕ボタンの名称を〔色ランダム〕に変更しました。

〔色変更〕ボタンを追加して、色を変更できるようにしました。

〔エクスポート〕〔インポート〕ボタンを追加して、他のPCとも共有できるようにしました。



2-25

実行時の表示状態を保持

属性検索の表示状態を現場毎に保持するようにしました。

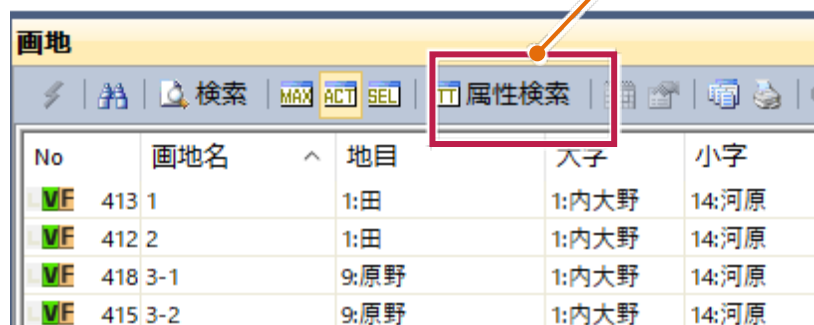
現場毎にそれぞれの表示状態を保つことができます。

【補足】2-25

測量計算の画地シートにある、「属性検索」の検索の設定を保持するようにしました。

従来は測量計算を起動するたびに、検索の設定をやり直す必要がありました。

「画地」シートの「属性検索」の設定を保持します。



「属性検索」は、大字・小字・地目等で画地を振りわけて表示する設定です。

画地

検索 MAX ACT SEL ATT 属性検索 CAD 配置

分類1 ☒ 昇順 ☐ 降順 分類2 ☒ 昇順 ☐ 降順 分類3 ☒ 昇順 ☐ 降順 分類4 ☒ 昇順 ☐ 降順 No ☒ 昇順 ☐ 降順 更新

大字 小字 地目 なし 画地名

1:内大野 (879)
 1:根柄 (18)
 1:田 (3)
 2:畑 (5)
 23:雑種地 (1)
 26:町道 (1)
 27:水 (3)
 31:道 (4)
 32:筆界未定地 (1)
 2:橋ノ沢 (42)
 1:田 (16)
 2:畑 (2)
 7:山林 (15)
 9:原野 (1)
 27:水 (3)
 31:道 (5)

No	画地名	地目	大字	小字
VF 393	1108	2:畑	1:内大野	1:根柄
VF 398	1083-1	2:畑	1:内大野	1:根柄
VF 406	1092-3	2:畑	1:内大野	1:根柄
VF 407	1093-2	2:畑	1:内大野	1:根柄
VF 409	1091-1	2:畑	1:内大野	1:根柄

大字：内大野 小字：根柄で
地目が畑のものを選択してシートに表示します。

2-26

属性マスター参照項目をマスターID（数値）で入力

地目、大字、所有者などについて、マスターIDに“:”を付与して入力することで、値をセットできます。

【補足】2-26

プロパティで所有者・地目・大字・小字などの属性を設定する場合は属性リストから対象を選択しますが、数が多いと選択するのに手間がかかるのを、属性リストの ID を入力することで選択ができるようにしました。

入力は、ID 番号 + “:”（どちらも半角文字）で行います。

The screenshot shows a software window with a list of property attributes and their corresponding Master IDs. The list is organized into sections: '西地属性' (West Land Attribute) and '所有者' (Owner). The '所有者' section is expanded, showing a list of owners and their IDs. A yellow callout box points to the list, stating: '数が多い場合にリストから選択するのに手間がかかります' (It takes time to select from the list when there are many items).

属性	Master ID
画地番号	18
画地名	1-27
地目	3宅地
旧地目	
所有者	17春山 登
旧所有者	160:古都倉 八重子
大字	161:森田 政一
小字	162:藤原 敏郎
精度区分	163:草部 門人
住所	164:須藤 宏美
台帳面積	165:野本 茂
地籍の地積	166:中田 時男
登記の地積	167:月田 和美
親地番番号	168:雪吉 宣一
	169:飯田 時夫
	170:河西 佐知子
	171:北村 倉佳
	172:高城 一郎
	173:長谷川 広司
	174:鹿島 八潮
	175:石井 賢次
	176:高城 義一
	177:小林 利夫
	178:飯田 多喜二
	179:橋本 正博
	180:小倉 幸子
	181:渡辺 博明
	182:須藤 和彦
	183:福田 祐二
	184:高田 広壮
	185:山越 信子
	186:多々良 三治

LOOK	2
画地属性	
画地番号	18
画地名	1-27
地目	3:宅地
旧地目	
所有者	183:17:春山 登
旧所有者	
大字	1:中本町
小字	1:五丁目

半角文字で、IDを “:”付きで入力します。

LOOK	2
画地属性	
画地番号	18
画地名	1-27
地目	3:宅地
旧地目	
所有者	183:福田 祐二
旧所有者	
大字	

所有者が変更されます。

入力するIDは、属性マスターのID番号です。

所有者

実行 終了 戻る 進む 閉じる		
No	ID	所有者名1
10	10	坂上 八重子
11	11	倉石 忠夫
12	12	有間 昌行
13	13	須藤 清恵
14	14	山田 清澄
15	15	長谷川 邦子
16	16	黒島 輝雄
17	17	春山 登
18	18	前 弘明
19	19	三宅 祐二
20	20	黒南 笑子
21	21	中山 雅司
22	22	田田 哲治
23	23	上川 八重
24	24	市田 敦哉
25	25	山 扶美子

H29 年度記載例地積測定精度管理表（P303） 筆界未定の設定を変更

地積測定精度管理表（P303）に、「筆界未定」を印字するための設定を変更しました。

1. 画地属性の筆状態を、「3:筆界未定地」に設定します。
2. 筆界未定地に設定する地目は、地目分類を「3:その他」に設定する必要があります。

「白地」を印字する場合も、筆界未定と同様です。

1. 画地属性の筆状態を、「5:白地」に設定します。
2. 白地に設定する地目は、地目分類を「3:その他」に設定する必要があります。

画地属性	
▶ 共通属性	
▲ 画地属性	
画地番号	1
画地名	筆界未定地-1
地目	24:筆界未定
筆状態	3:筆界未定地

画地属性

- ・筆状態を「3:筆界未定地」
- ・地目は、地目分類が「3:その他」のものを設定する。

地目

<input checked="" type="button" value="実行"/> 終了 インポート... マスター保			
No	ID	地目名称	地目分類
13	13	水道用地	0:(通常画地)
	14	用悪水路	0:(通常画地)
	15	ため池	0:(通常画地)
	16	堤	0:(通常画地)
	17	井溝	0:(通常画地)
18	18	保安林	0:(通常画地)
19	19	公衆用道路	0:(通常画地)
20	20	公園	0:(通常画地)
21	21	鉄道用地	0:(通常画地)
22	22	学校用地	0:(通常画地)
23	23	雑種地	0:(通常画地)
24	24	筆界未定	3:その他
25	81	道路	1:道
26	82	運河	2:水